

高萩市公共施設等管理計画

令和 5 年度実績報告書

令和 7 年 1 月

高萩市

目次

はじめに… 1

1 高萩市公共施設等管理計画（改訂版）および高萩市公共施設個別施設計画について…1

2 評価の目的… 1

3 評価の実施方法… 2

4 評価の考え方… 2

5 評価の結果… 3

6 用途別実態把握… 8

7 個別施設計画の進捗および現状について… 30

8 コストシミュレーションについて… 55

9 最近の主な取組… 56

10 今後について… 57

講評 … 58

参考資料…59

1. 公共施設等管理計画の基本方針
 - (1) 公共施設（マネジメントの大方針）
 - (2) インフラ施設に係る基本方針
2. コミュニティ施設配置図
3. 諮問書、答申書

はじめに

本市では、1970年代から80年代を中心に、増加する人口にあわせ、多くの公共施設を整備してきました。現在は、この時期に整備された公共施設が一斉に更新（大規模改修や建替え）の時期を迎えています。

一方で、現在の財政状況は、人口減少・高齢化に伴う税収の減少等が見込まれる厳しい状況に加え、社会保障関係経費の増加や、近年では物価や光熱費高騰の影響を大きく受け大変厳しい財政状況になっています。

公共施設マネジメントは、市民の生命と財産を第一に考え、限られた財源のなかで適切な老朽化対策を講じていくために、人口規模に合わせた適正配置と適正量保有を目指す、大変重要な取組です。

その取組を推進するにあたっては、公共施設の整備や管理運営をより一層効率的に行い、既存施設の集約化・複合化を推進していくことになりますが、**本市では、機能は減らすことなく、施設を集約することで、それによる利便性の向上や機能の充実を図ることを目指しています。**

人口規模に合わせた適正配置と適正量保有のためには、市民の皆様との合意形成が不可欠となります。そのため、本報告書では、市民の皆様は、本市の公共施設マネジメントについてご理解いただくため、進捗状況や今後の方向性についてご報告いたします。

1 高萩市公共施設等管理計画（改訂版）および高萩市公共施設個別施設計画について

これまで本市では、「高萩市公共施設マネジメント白書（平成25年1月）」、「高萩市公共施設等管理計画基本方針（平成26年3月）」を策定し、公共施設等の老朽化対策に取り組んできました。

また、令和2年3月には、市の公共施設や公共施設を取り巻く状況も変化してきたことから、将来を見据えた具体的な改善策をとりまとめた「高萩市公共施設等管理計画 改訂版」（以下、「管理計画」）を策定するとともに、管理計画の基本的な考え方や改善の方向性を踏まえた公共施設の修繕・更新の実施計画である「高萩市公共施設個別施設計画」（以下、「個別計画」）をあわせて策定し、老朽化対策や公共施設等の適正配置・適正保有に取り組んでいます。

2 評価の目的

管理計画・個別計画作成時に設定した取組について、全体の管理指標の進捗状況や、個別計画の取組状況等について、確認と評価を実施し、その結果を今後の個別計画に反映させることを目的とします。

3 評価の実施方法

管理計画の実施計画である個別計画に関する評価結果及び達成要因・未達成要因を踏まえ、管理計画全体の実績値の推移の確認および達成要因・未達成要因の整理を行います。

また、個別計画の計画期間は令和2年度以降ですが、管理計画策定時に平成30年度（一部平成29年度）の実績値を基準としたため、令和元年以降の実績値を用いて評価を行います。

4 評価の考え方

各目標値について、事業実施体制・事業実施過程・成果の3つの視点に基づき、評価を行います。

（1）事業実施体制指標の評価に当たっては、以下の定義に従い、A～Cの3段階に区分します。

- A：十分であった。
- B：不足していた。
- C：全くなかった。
- －：評価なし

（2）事業実施過程指標の評価に当たっては、以下の定義に従い、A～Cの3段階に区分します。

- A：十分であった。もしくは、実施目標を達成している。
- B：不足していた。もしくは、実施目標には届かなかったが実施した。
- C：全くなかった。もしくは実施しなかった。
- －：評価なし

（3）成果指標の評価に当たっては、以下の定義に従い、A～Cの3段階に区分します。

- A：目標を達成している。
- B：目標には届かなかったが改善が見られる。
- C：改善が見られない。
- －：評価なし

事業実施体制……計画立案・実施構成・評価体制を指す。

計画の目的・目標を達成するためのしくみや体制のこと。

事業実施過程……事業の実施過程を指す。

事業を実施するための準備状況や、実際の進め方など。

成果……事業の実施状況・実施量。また、計画を実行することにより目指す目標や目的。

5 評価の結果

(1) 事業実施体制…A

令和5年度は、アセットマネジメントの所管である企画部門と関連部署が連携し、情報共有を図るとともに、外部委員で構成する高萩市公共施設管理計画策定委員会から評価を受ける体制で実施しました。

また、個別施設計画を推進するにあたっての予算等については、財政状況を鑑み、優先して推進するものから、予算を確保し、執行しました。

(2) 事業実施過程…B

令和5年度の全体の管理指標の進捗状況や、個別計画の取組状況等について、確認と評価を実施し、その結果を今後の個別計画に反映させました。また、量的データとして固定資産台帳および施設別行政コスト計算書を作成し、現状把握を行いました。

また、実施計画である個別施設計画は、一部の事業では、施設のあり方の検討に時間を要したため計画どおりに進めることができなかった取組（コミュニティ施設の集約・廃止方針の決定など）もありましたが、コミュニティ施設で延床面積が最大である中央公民館機能を総合福祉センターへ集約するため、総合福祉センターの大規模改修等を実施するなど達成のために着実に事業を実施しております。

(3) 公共施設の成果指標…下表のとおり

管理計画の目的である延床面積とコスト削減に向けた取組の管理指標として掲げる6指標について評価を行いました。

(公共施設) **赤枠が今回の更新箇所**

管理指標	ベースライン 2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	現状 2023 (R5)	評価
1 延床面積 (全体/市民1人当たり)	延床面積の ベースライ ンはR1	145,000㎡ 5.2㎡/人	143,100㎡ 5.2㎡/人	144,100㎡ 5.3㎡/人	142,600㎡ 5.3㎡/人	142,600㎡ 5.4㎡/人	C
管理計画では、2029（R11）年までに、延床面積を11,470㎡削減することを目標としています。1年あたりに換算すると、1,147㎡となるため、本管理指標においては、毎年度1,147㎡ずつ削減できているか評価します。2023（R5）年の削減面積は0㎡のため、単年度としては目標を達成していないこと、また累計削減面積も未達成のため、評価はC（改善が見られない）としています。また、次のページで用途別にも評価を行っています。 【評価方法】 単年度削減面積（削減面積/R1～R11の10ヵ年）及び累計削減面積（単年度×累計年）で評価します。							
2 稼働率 (1施設当たり)	管 理 計 画 P.21～P.42	6 用途別実態把握 参照					
市民が利用する施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全体的に減少しています。 【評価方法】 ベースライン（H30）の利用者数や稼働率と比較し、評価します。							
3 行政コスト (全体/市民1人当たり)	16.4億円 ※H29	17.0億円	17.4億円	16.7億円	18.5億円	未確定	C
	5.9万円/人	6.1万円/人	6.3万円/人	6.1万円/人	6.9万円/人	未確定	
管理計画では、施設の再編に伴い、40年間で92億円の行政コストが削減されると試算しています。2029（R11）年までは、毎年度前年度比で590万円ずつ削減することになります。2022（R4）年は、ベースライン比+2.1億円のため、評価はC（改善が見られない）としています。 【評価方法】 ベースラインと比較し、評価します。							
4 更新コスト (全体/市民1人当たり)	12.1億円	14.9億円	11.5億円	17.3億円	13.6億円	14.0億円	—
	4.3万円/人	5.3万円/人	4.1万円/人	6.4万円/人	5.1万円/人	5.3万円/人	
施設再編の時期は施設によって異なり、単年度では、その更新コストの多寡で是非を判断できるものではないため評価なしとしています。ただし、10年間の期ごとの計画見直しの際に、その期の更新コストについても検証します。							
(参考値) 公共施設等整備費支出（一般会計等）	8.43億円	9.17億円	7.35億円	15.01億円	11.4億円	未確定	—
参考値であり、また更新コスト同様、多寡で是非を判断できるものではないため、評価なしとしています。							
5 老朽化度（全体）	55.30%	56.60%	58.10%	58.70%	60.20%	未確定	C
	本指標は、有形固定資産減価償却率であり、100%に近いほど老朽化の程度が高いということになります。本管理指標においては、毎年度ベースラインとの比較で評価します。2022（R4）年は、ベースライン比+4.9%のため、評価はC（改善が見られない）としています。 【評価方法】 ベースラインと比較し評価します。						
6 計画との整合性	—	7 個別施設計画の進捗および現状について 参照					
【評価方法】 個別計画における実施目標について、当該年度で予定していた計画と比較し、達成しているかどうか、用途別に評価します。							

■保有施設の状況（公共施設）

表の見方

稼働率

利用ニーズを把握するための指標です。

評価にあたっては、稼働率のほか、利用人数・件数なども含めて、利用状況として評価しています。

なお、施設の最適化が図られれば、稼働率なども向上することが考えられるため、計画の効果検証の指標にもなると考えられます。

計画との整合性

稼働率や老朽化状況などを踏まえ、施設別に計画を策定しています。

その計画どおりに必要な取組が実施できたか評価しています。

延床面積

この計画では、段階的に再編を実施して、令和 41 年度には保有する面積を約 5.5 万㎡とする数値目標を立てています。

取組に対する1つの成果指標として、どのくらい面積が削減できたか評価します。

稼働率

計画

延床面積

計画A、成果Aであれば、計画が成果に反映しているということであり、一方、計画A、成果Cであれば、計画を見直す必要があると考えられます。

ただし、施設によっては、計画どおりに取組んだとしても、成果が表れるまでにタイムラグがある場合もあります。

主な用途	稼働率 評価※1	計画との整合性 評価※2	
市役所等	—	—	⇒
その他文化・教育施設	C	C	
体育施設	A	C	⇒
図書館	C	C	
福祉施設	C	A	⇒
市営住宅	C	C	⇒
コミュニティ施設	C	C	⇒
学校施設	C	A	⇒
児童福祉施設 ※各章では「保育所・幼稚園」	A	A	⇒
環境衛生施設	B	B	⇒
消防施設	—	A	⇒
閉校・廃止施設	—	—	⇒

※1…「6 用途別実態把握」より

※2…「7 個別施設計画の進捗および現状について」より

主な用途 管理計画改訂時の面積 ()内は市民1人当たり	本計画における現状			
	実態・課題	R5 の面積	削減面積 上段：前年度比 下段：累計	延床 面積 評価
市役所等 6,400 m ² (0.2 m ² /人)	●築6年以下であり、施設の不具合は生じていない。	6,400 m ² (0.2 m ² /人)	— —	—
その他文化・教育施設、 体育館、図書館 10,000 m ² (0.4 m ² /人)	●施設数等に大きな変化ない。 ●利用者数は全体的に減少傾向にあったが、令和4年度以降徐々に回復傾向にある。	10,000 m ² (0.4 m ² /人)	— —	—
福祉施設等 6,000 m ² (0.2 m ² /人)	●総合福祉センターの年間利用者数は減少傾向にあったが、令和4年度以降徐々に回復傾向にある。	6,000 m ² (0.2 m ² /人)	— —	—
市営住宅 47,700 m ² (1.7 m ² /人)	●萩ヶ丘住宅5棟、坂東塚住宅5棟が廃止。花貫住宅A棟～C棟は令和2年度から住替え対象。 ●全体的に入居率は低下している。	46,100 m ² (1.8 m ² /人)	— △1,600 m ²	C
コミュニティ施設 10,100 m ² (0.4 m ² /人)	●利用者数は全体的に減少傾向にあり、小規模集会施設では1日当たりの利用が1人未満の施設が大半を占めている状況。 ●いずれの地域でも利用者は減少している。	9,800 m ² (0.4 m ² /人)	— △300 m ²	C
学校施設 44,600 m ² (1.6 m ² /人)	●児童生徒数は減少傾向にあり、今後20年で約40%以上減少予測	44,600 m ² (1.7 m ² /人)	— —	C
児童福祉施設 2,900 m ² (0.1 m ² /人)	●幼保一元施設（たかはぎ認定こども園）の整備 ●たかはぎ認定こども園の入園率は97%。 ●旧松岡幼稚園は閉校・廃止施設へ分類を変更。	1,900 m ² (0.1 m ² /人)	△600 m ² △1,000 m ²	A
環境衛生施設等 10,600 m ² (0.4 m ² /人)	●令和5年度から一般廃棄物処理業務（し尿及び浄化槽汚泥を除く）は、高萩・北茨城広域事務組合へ移管 ●クリーンセンターの稼働状況はほぼ横ばい ●斎場は年度により利用にばらつきがあるがほぼ横ばい。	10,700 m ² (0.4 m ² /人)	0 m ² (△9.8 m ²) +100 m ²	C
閉校・廃止施設 6,700 m ² (0.2 m ² /人)	●旧君田小中学校（10年定期賃貸）、旧分庁舎、旧第二分庁舎。駒木原倉庫は解体。 ●旧松岡幼稚園を分類変更したことによる増。	7,200 m ² (0.3 m ² /人)	+600 m ² +500 m ²	B
145,000 m ² (5.2 m ² /人)		142,600 m ² (5.4 m ² /人)	±0 m ² △2,300 m ²	C

※端数処理により、R5 面積は、管理計画改訂時の面積と R5 までの削減面積の差と一致しない。

また、R5 面積の内訳と合計は一致しない。

※市役所等、その他文化・教育施設、体育館、図書館、福祉施設等は削減目標がないため評価なし(—)。

今後の方向性					
施設類型別の方向性	削減面積				40年後 の面積
	～2029 (R11)	～2039 (R21)	～2049 (R31)	～2059 (R41)	
⇒ ● 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。	—	—	—	—	6,400 ㎡
⇒ ● 老朽化した施設は、耐用年数をむかえた段階で廃止し、類似施設へ機能移転	—	△3,000 ㎡	△1,600 ㎡	—	5,400 ㎡
⇒ ● 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。	—	—	—	—	6,000 ㎡
⇒ ● 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から削減 ● 民間住宅の借上げ方式への転換等により、施設総量の圧縮を図る ● 経過年数に限定せず、維持管理費とのバランスに留意して施設廃止を検討	△4,200 ㎡	△4,800 ㎡	△29,600 ㎡	—	9,100 ㎡
⇒ ● 地域住民に対しての適正量を検討し、類似施設や機能の重複している施設を機能転換し、集会機能の全体総量の圧縮を図る。その際、老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から廃止 ● 公民館や学校等の空きスペースを活用し機能移転を行う。	△4,800 ㎡	△2,700 ㎡	+8,000 ㎡	△3,800 ㎡	6,800 ㎡
⇒ ● 将来の児童生徒数を見据え、適正規模・適正配置により総量を圧縮する。	△7,300 ㎡	△13,600 ㎡	△12,400 ㎡	—	11,300 ㎡
⇒ ● 幼保一元化を推進し、現在保有する5施設を段階的に集約して総量を圧縮する。	△870 ㎡	△1,170 ㎡	—	—	860 ㎡
⇒ ● 施設の稼働率等を考慮の上、施設の更新時に適正規模を検討し圧縮を図る。	△1,400 ㎡	—	—	—	9,200 ㎡
⇒ ● 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設は解体する。また、利活用を検討する。	+7,100 ㎡	+1,300 ㎡	△300 ㎡	△14,800 ㎡	0 ㎡
	△11,470 ㎡	△23,970 ㎡	△35,900 ㎡	△18,600 ㎡	55,060 ㎡

■ 全体の保有量の約6割 市営住宅と学校施設

本市が保有する公共施設のうち、市営住宅は約32.3%、学校施設は約31.3%の保有量となっています。特に、本市では、学校施設を核としながら公共施設の再編を実施することとしており、計画の柱となっています。

〔市営住宅〕 稼働率C/計画C/延床面積C

全体的な入居率は低下していますが、住替えの促進とあわせて解体も進めているため、高浜第二住宅の入居率は高くなっており、住替えの促進を促している萩ヶ丘住宅及び坂東塚住宅の入居率は低くなっています。延床面積の削減は目標に達成していませんが、解体に関しては計画通り実施しています。引き続き耐用年数を迎える施設は住替えの促進を行い、順次解体を進めて行きます。

〔学校施設〕 稼働率C/計画A/延床面積C

学校施設については、現時点で延床面積の削減実績がないためC評価ですが、取組は計画的に進めており、令和4年度には、本市にとって望ましい学校規模等を定めた学校適正規模・適正配置基本方針を策定し、令和5年度には、学校再編計画を盛り込んだ高萩市立小中学校適正規模・適正配置実施計画を策定しています。

今後、実施計画に基づいた取組が進み、施設の集約化が図られることで、本市の公共施設マネジメントの進展にも大きく寄与することが期待されます。

■ 保有施設の状況（インフラ施設）

種別		H30末 保有面積	R4末 保有面積 (A)		R5末 保有面積 (B)	差引 (C) = (B) - (A)	備考	保有量の増減理由
道路	一般道路	230万4,479㎡	209万4,910㎡	⇒	209万6,575㎡	1,665㎡	R5年度 未現在	道路改良工事に伴う 面積の増
	うち 自転車 歩道	12万3,754㎡	12万4,333㎡	⇒	12万5,026㎡	693㎡	R5年度 未現在	歩道整備工事に伴う 面積の増
橋りょう	橋りょう	230橋	224橋	⇒	223橋	△1橋	R5年度 未現在	塚金橋撤去のため
	橋りょう 面積	1万7,089㎡	1万6,933㎡	⇒	1万6,891㎡	△42㎡	R5年度 未現在	塚金橋撤去のため
公園	施設数	55施設	55施設	⇒	55施設	0施設	R5年度 未現在	
	延面積	9万7,350㎡	9万7,350㎡	⇒	9万7,350㎡	0㎡	R5年度 未現在	
上水道	総延長	約18.0万m (180,390 m)	181,536m	⇒	181,760m	224m	R5年度 未現在	配水管新設の ための増
下水道	総延長	約20.7万m (207,645 m)	207,874.6m	⇒	207,899.9m	25.3m	R5年度 未現在	新築家屋建築による 管路敷設に伴う増

6 用途別実態把握（令和5年度末現在）

（１）コミュニティ施設

① 対象施設一覧

コミュニティ施設として、公民館を２施設、集会所を２７施設、生活改善センターを１６施設、その他コミュニティ施設を４施設の合計４９施設保有しています。

図表 施設一覧

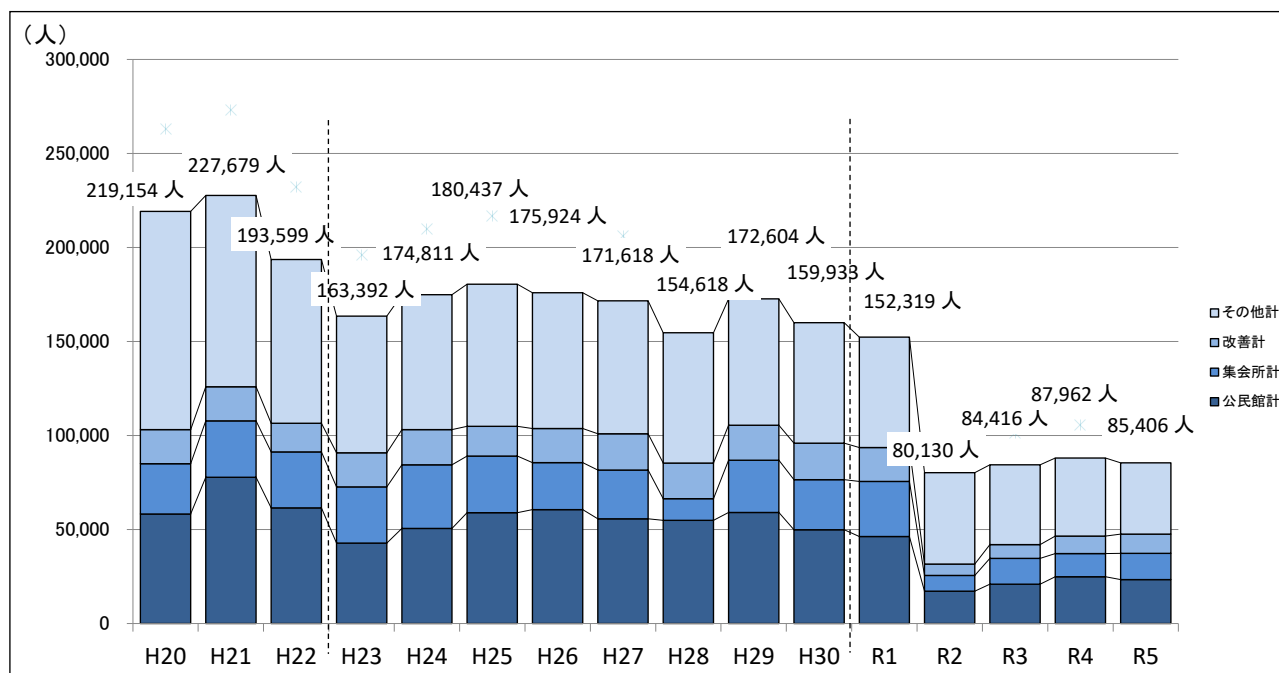
	地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年 度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能					備考
	高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								集 会 議 室	調 理 室	工 作 室	図 書 室	そ の 他	
公民館	●				1 中央公民館	高萩市高萩17-3	981	1971	RC	2F	市直営	●	●	●	—	—	
	●				安良川公民館	高萩市安良川74-1	329	1962	RC	2F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	2022年除却
			●		2 松岡地区公民館	高萩市下手綱787-1	613	1989	S・W	1F	市直営	●	●	—	●	—	
集会所	●				1 石滝集会所	高萩市石滝483-3	111	1984	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				2 有明町集会所	高萩市有明町2丁目13-1	195	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				3 肥前町集会所	高萩市肥前町2丁目1-8	101	1979	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				4 東本町集会所	高萩市東本町2丁目51	246	1995	RC	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				5 駒形集会所	高萩市安良川272-164	136	1990	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				6 翠ヶ岡集会所	高萩市安良川2183-6	84	2005	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				7 本町・春日町集会所	高萩市春日町3-10-16	70	2006	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				8 石滝上ノ台集会所	高萩市石滝2604-3	135	1991	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	●				9 台高萩集会所	高萩市高萩903-1	135	1992	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			10 竹内集会所	高萩市島名2230	151	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
		●			11 駒木原集会所	高萩市高萩790-2	190	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			12 向洋台集会所	高萩市島名2118-87	161	1985	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			13 島名東集会所	高萩市島名1710-3地先	109	1997	軽量S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			14 上島名千代町集会所	高萩市島名2253-142	128	1995	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			15 秋山中集会所	高萩市秋山625-5	120	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			16 秋山南集会所	高萩市秋山2433-9	123	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			17 和野集会所	高萩市秋山83-1	98	1979	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			18 高戸集会所	高萩市高戸810-3	132	1997	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			19 行人塚集会所	高萩市高戸192-1	204	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			20 上原集会所	高萩市上手綱3223-14	40	1988	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			21 小島団地集会所	高萩市下手綱1962-2	233	1995	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			22 千代田集会所	高萩市上手綱1911-1	110	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			23 関口集会所	高萩市上手綱2807-9	112	1981	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			24 てつな住宅団地集会所	高萩市上手綱5150-4	232	2012	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
		●			25 若栗集会所	高萩市若栗227	94	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
		●			26 中戸川集会所	高萩市中戸川1211	132	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			27 福平集会所	高萩市福平93-1	45	1994	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
生活改善センター		●			1 秋山生活改善センター	高萩市秋山806-1	108	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	調理はミニキッチン程度
		●			2 秋山下生活改善センター	高萩市秋山1164	131	1985	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			3 秋山中集落センター	高萩市秋山1829	155	1990	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			4 島名多目的研修会館	高萩市島名1604-2	219	1980	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			5 山手集落センター(山手公民館)	高萩市高萩460-3	174	1989	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			6 北組コミュニティセンター	高萩市上手綱2485-1	146	1999	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			7 上手綱生活改善センター	高萩市上手綱1769-6	108	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			8 下組生活改善センター	高萩市上手綱52	130	1986	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			9 石舟生活改善センター	高萩市上手綱3146-1	110	1986	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			10 赤浜田園都市センター	高萩市赤浜1397-1	150	2010	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
		●			11 大能生活改善センター	高萩市大能653	99	1979	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	調理はミニキッチン程度
		●			12 上君田生活改善センター	高萩市上君田715	271	1981	S・W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			13 横川生活改善センター	高萩市横川9-1	134	1989	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			14 緑の郷コミュニティセンター	高萩市下君田755	194	1976	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			15 大金田多目的集会所	高萩市横川947	53	1992	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
		●			16 鳥曾根多目的集会所	高萩市中戸川1848	101	1993	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
その他	●				1 高萩市民センター	高萩市春日町2-22	744	1981	RC	3F	委託(シルバー人材)	●	●	●	—	—	
		●			2 高萩市里山交流館	高萩市上君田715-1	118	1994	W	1F	市直営	●	●	—	—	—	平成23年開館
		●			3 森林公園	高萩市下手綱1952-17	311	1999	W	1F	委託(シルバー人材)	—	—	—	—	—	● 森林公園管理棟・グリーンミュージアム管理棟
		●			4 花貴物産センター	高萩市大能1100-2	367	2001	W	1F	指定管理	—	—	—	—	—	● 販売コーナー・食事処

② 利用状況 C 評価

■ 利用者数の推移

コミュニティ施設の年間利用者数の推移をみると、管理計画改訂時（H30 年度データ）は約 16.0 万人でしたがその後は減少傾向となっており、令和2年度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響以降 8 万人台となっています。

図表 利用者数の年間推移

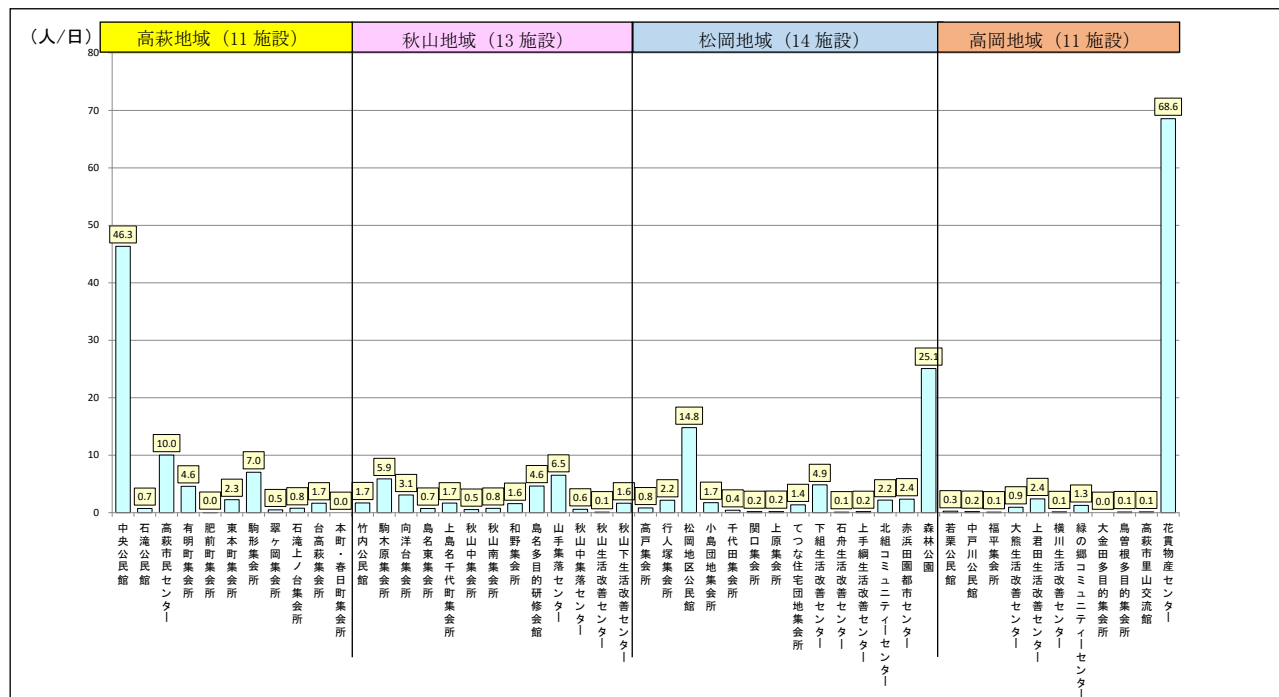


■ 1日当たりの施設別利用者数

中央公民館の1日当たり利用者数は 46.3 人、松岡地区公民館は 14.8 人となっています。小規模集会施設は1日当たりの利用者数が 1 人未満の施設が大半を占めています。

図表 1日当たりの利用者数（令和5年度）

※利用者数÷365 日で算出

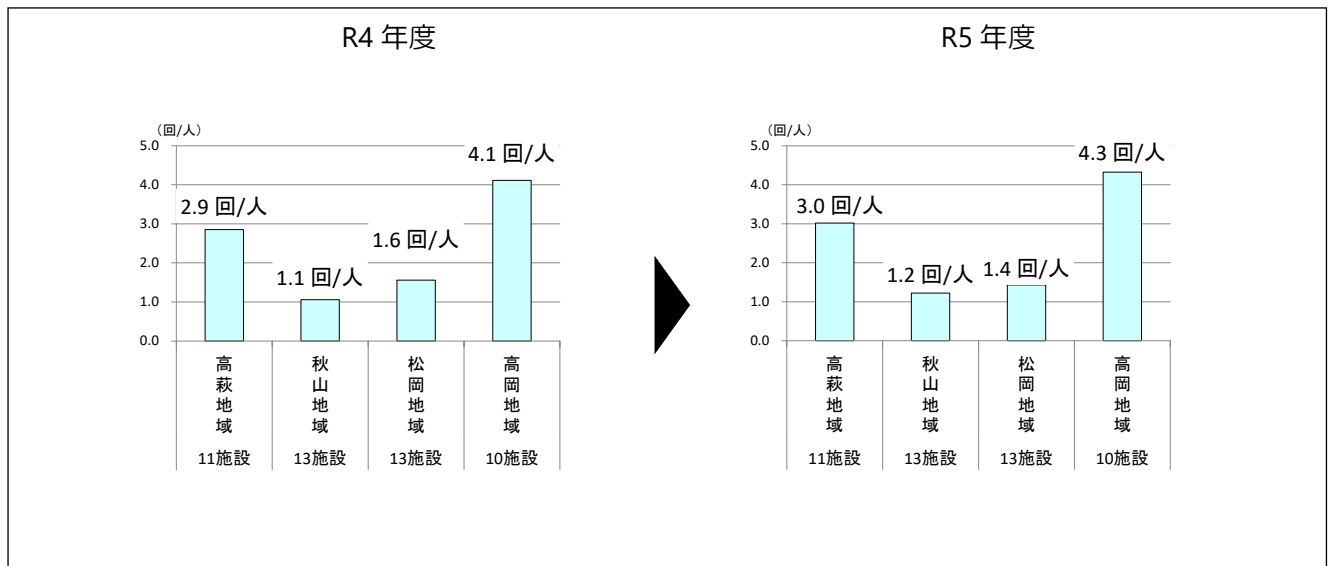


■ 地域住民 1 人当たりの利用回数

前年度と比較しても、大きな増減はありません。

図表 地域住民 1 人当たりの利用回数

※利用者数÷地域別人口



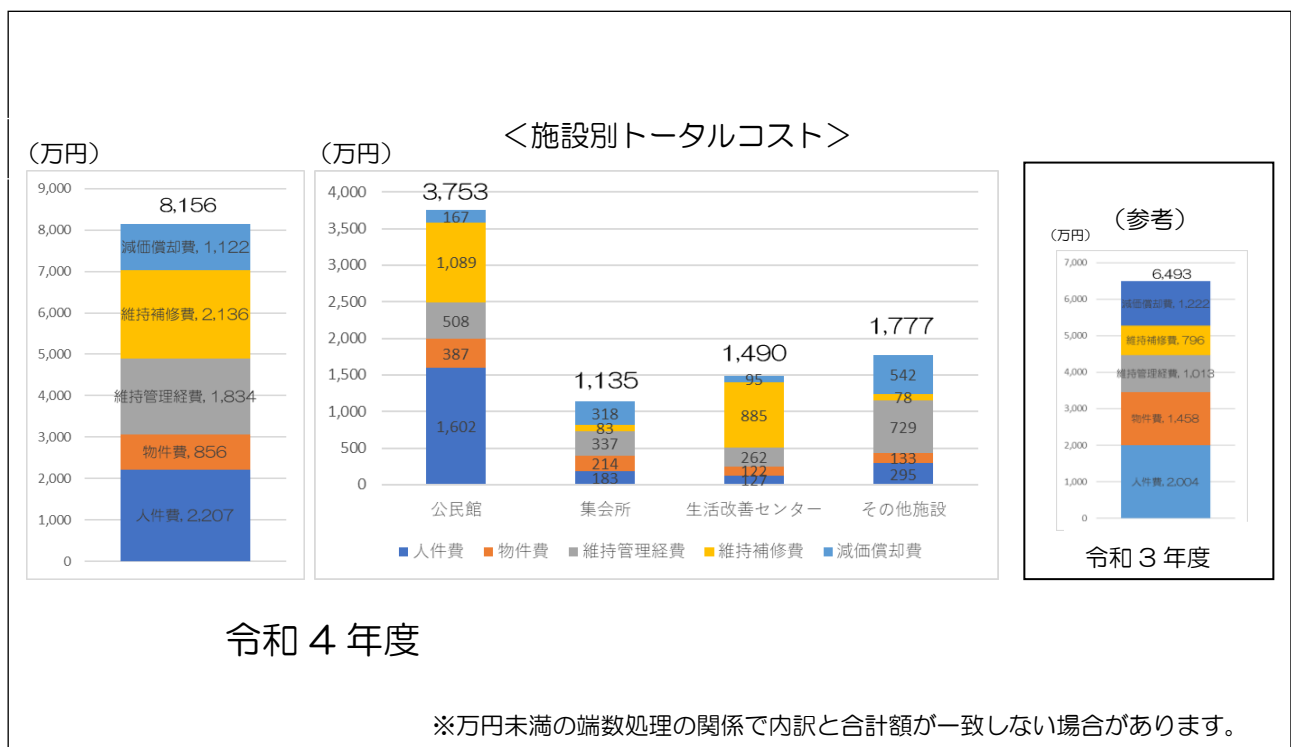
※上記には、森林公園と花貫物産センターを含んでいない。

③ コスト状況

■ コミュニティ施設のトータルコスト

コミュニティ施設全体のトータルコストは、8,156 万円です。そのうち、公民館が 3,753 万円（約 46%）で、集会所は 1 施設平均 49 万円、生活改善センターは 1 施設平均 93 万円となっています。

図表 コミュニティ施設トータルコスト



(2) その他文化・教育施設

① 対象施設一覧

その他文化・教育施設として、文化会館、リーベロたかはぎ、高浜スポーツ広場の3施設、資料館等では県指定文化財穂積家住宅、歴史民俗資料館の2施設の5施設があります。

基本方針策定時から、勤労青少年ホームが「高浜スポーツ広場」として変更になっています。

図表 施設一覧

		地域				名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能							備考
		高浜 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							ホール	多目的 ホール	・集会 ・会議	調理	音楽	体育室	展示	
・主催事業 開催・集会	その他文化会館	●				文化会館	3,016	1980	SRC	3F	市直営	● (固定 670席)	—	●●●	—	—	—	● (140㎡) (100人)	
		●				リーベロたかはぎ	717	1976	W	1F	市直営	—	● (243㎡) (255人)	—	—	—	—	●● (53 ~ 128㎡) (55 ~ 130人)	
		●				高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年 ホーム)	868	1977	RC	1F	市直営	—	● (136㎡)	●●●	●	●	●	—	敷地内にテニスコート・グラウンド併設
	の文化 保存・等			●		県指定文化財 穂積家住宅	322	1981	W	1F	委託(シル バー人材)	—	—	—	—	—	—	—	
		●				歴史民俗資料館	686	1983	RC	2F	市直営・委託	—	—	—	—	—	—	—	

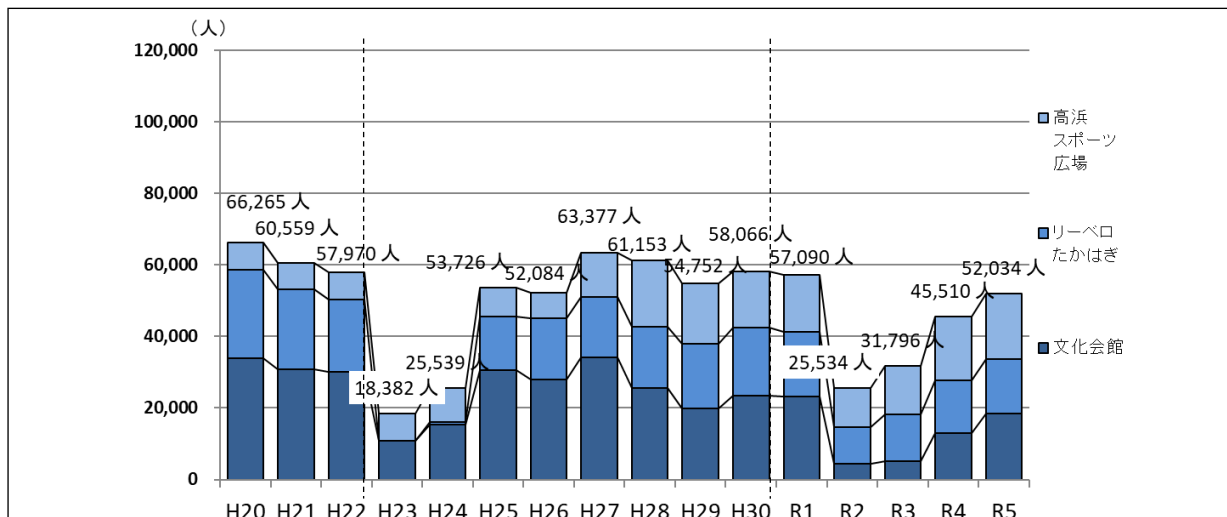
② 利用状況 C 評価

■ 利用者数の推移

その他文化施設の年間利用者数の推移をみると、令和元年度までは5万人を越えていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度、3年度はほぼ半減しました。令和5年度の利用者数は52,034人となり、回復傾向にあります。

同様に、1日当たりの利用者数についても、3施設とも回復傾向にあります。

図表 その他文化施設の利用者数の年間推移

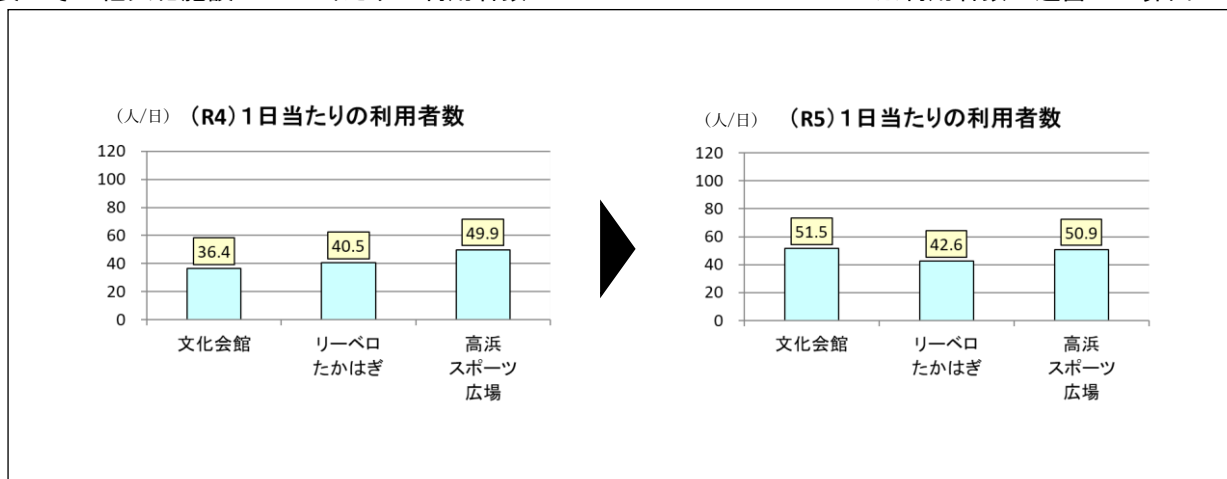


※高浜スポーツ広場は、H23年3月から8月まで震災により休館

※リーベロたかはぎは、H23年3月からH24年11月まで市役所として機能

図表 その他文化施設の1日当たりの利用者数

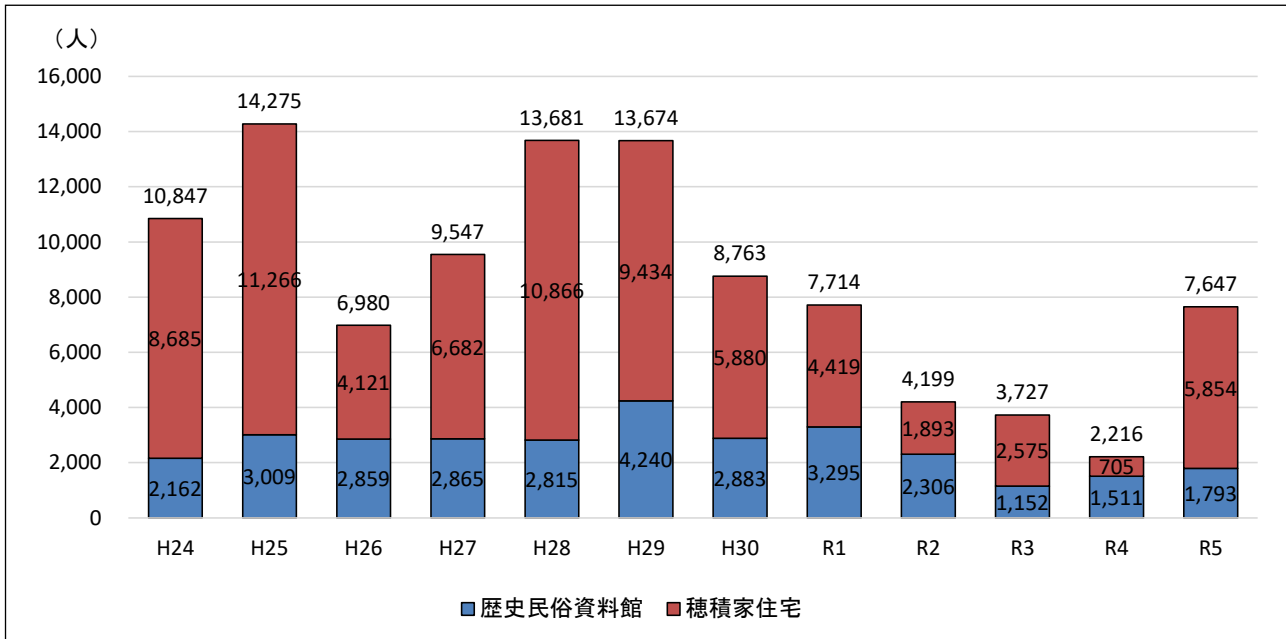
※利用者数÷運営日で算出



■ その他教育施設の利用者数の推移

歴史民俗資料館及び穂積家住宅の年間利用者数は、令和2年度から令和4年度にかけて5,000人以下で推移していましたが、令和5年度は7,000人以上となっています。穂積家については令和4年7月1日～令和5年3月31日の期間、茅葺屋根修理工事実施のため臨時休館としたため令和4年度の利用者数が減少しています。

図表 利用者数の年間推移

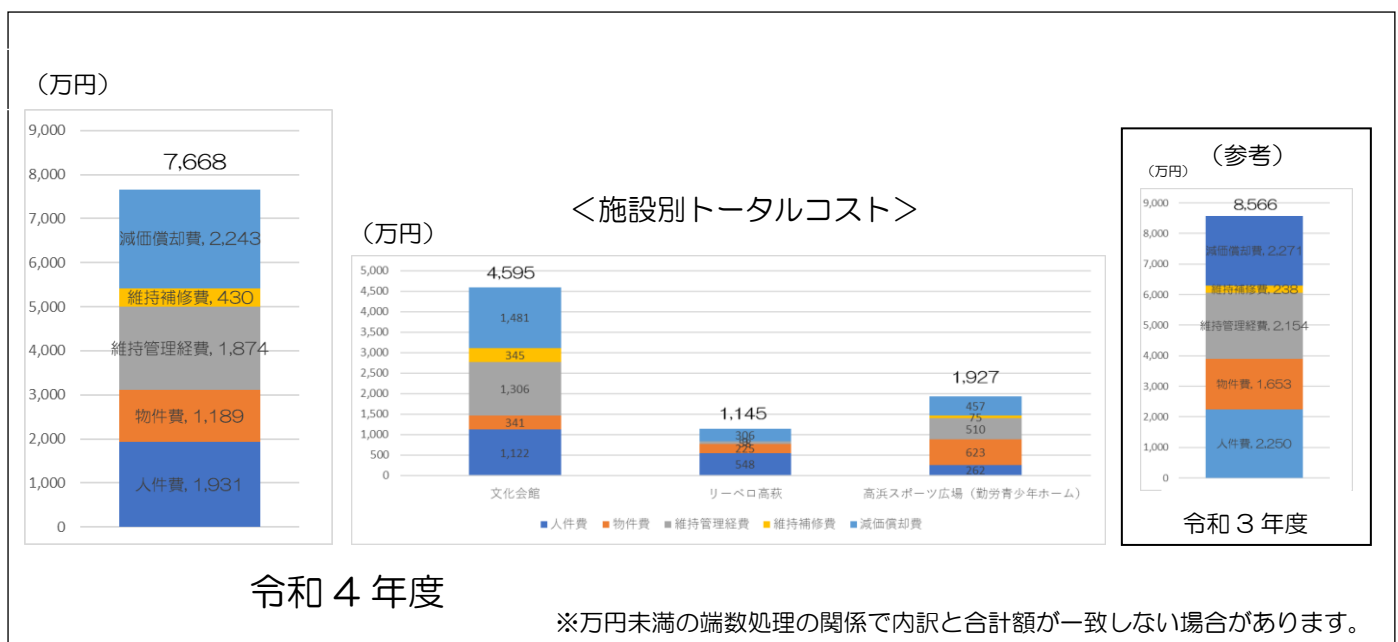


③ コスト状況

■ その他文化施設3施設のトータルコスト

その他文化施設3施設全体のトータルコストは、7,668万円です。そのうち、文化会館が4,595万円(約60%)で、リーベロたかはぎは1,145万円、高浜スポーツ広場は1,927万円となっています。

図表 その他文化施設3施設のトータルコスト



(3) 福祉施設

① 対象施設一覧

福祉施設として、総合福祉センターを保有しています。

図表 施設一覧

地域				名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能								備考
高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域							ホール	多目的ホール	会議集会	調理	音楽	体育室	展示	その他	
●				総合福祉センター	5,972	2000	RC・S	2F	市直営	—	● (可動284人)	●●●●	—	—	—	●		多目的ホールは、ステージ付き

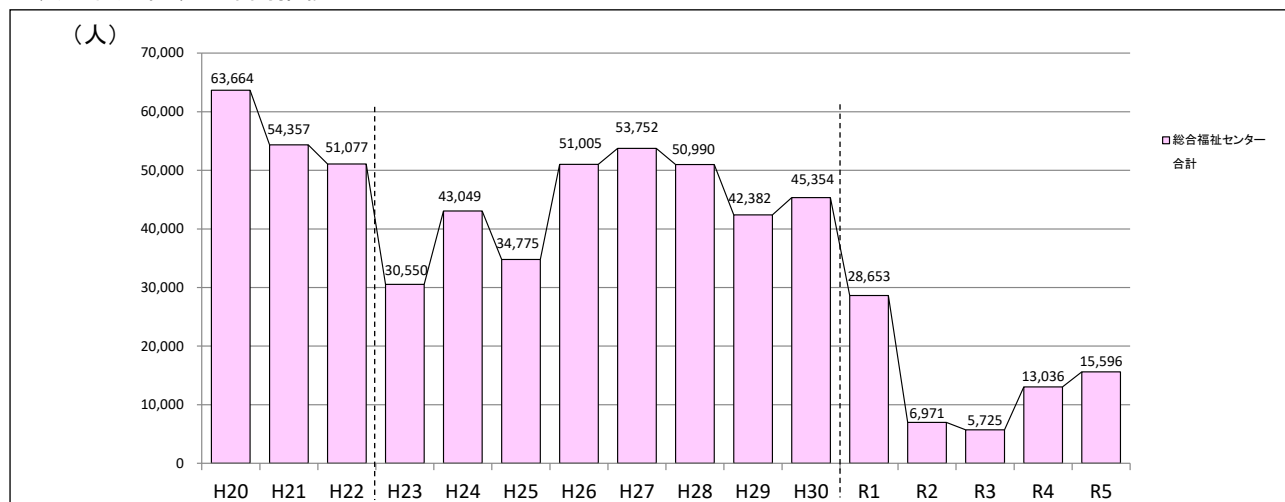
② 利用状況 C 評価

■ 利用者数の推移

総合福祉センターの年間利用者数の推移をみると、令和2年度以降、1万人以下で推移していましたが、令和4年度から1万人を超えました。

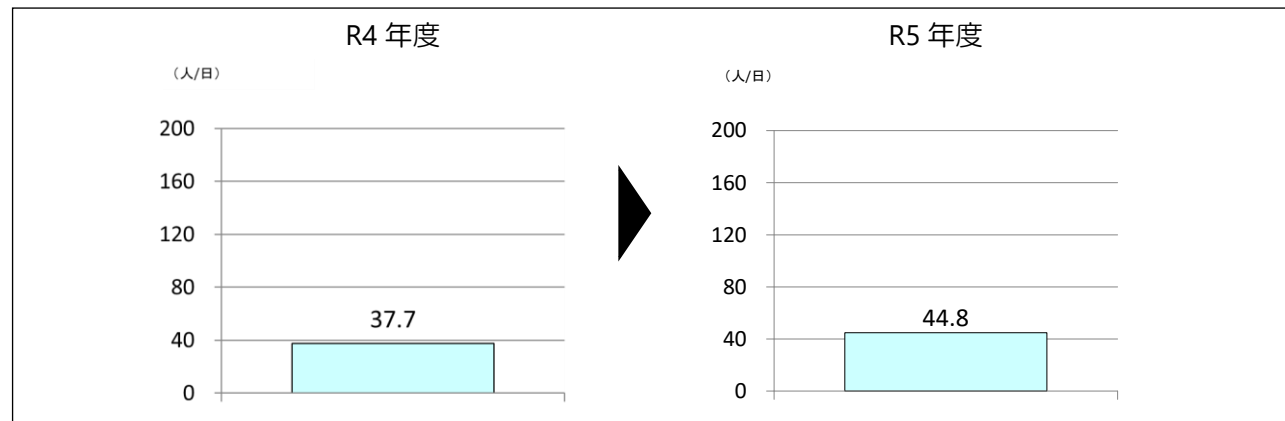
総合福祉センターの1日当たりの利用者数は、令和4年度の約38人から約45人と増加しています。

図表 利用者数の年間推移



図表 1日当たりの利用者数

※利用者数÷運営日数で算出

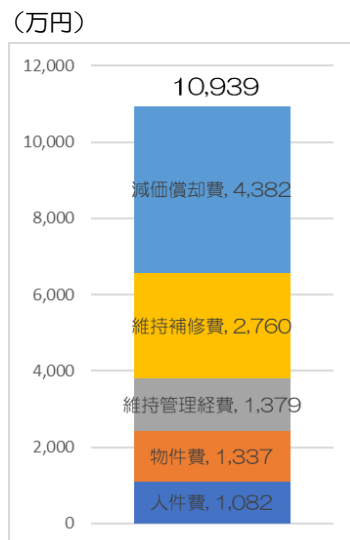


③ コスト状況

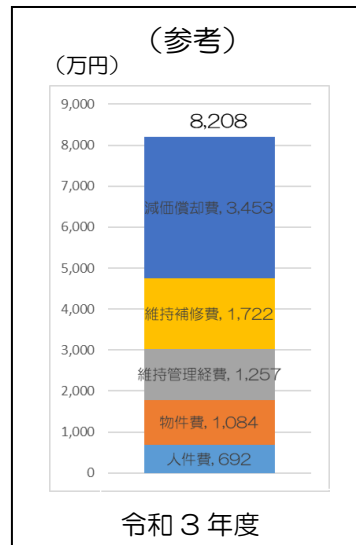
■ 総合福祉センタートータルコスト

総合福祉センターのトータルコストは、1 億 939 万円となっています。

図表 総合福祉センタートータルコスト



令和 4 年度



令和 3 年度

※万円未満の端数処理の関係で内訳と合計額が一致しない場合があります。

(4) 体育施設

① 対象施設一覧

スポーツ施設として、4施設保有しています。

保有機能をみると、競技場等の屋内施設の高萩市民体育館があり、その他3施設はグラウンド等の屋外施設となっています。

図表 施設一覧

地域				施設名称	建築年度 (年度)	敷地面積	延床面積 (㎡)	保有機能					
高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域					競技場 (体育館)	柔道場 剣道場	多目的 グラウンド	野球場 (公式)	テニス コート	ゲート ボール場
		●		サンスポーツランド高萩	2003	31,195 ㎡	199 ㎡			● (照明無)			●
●				高萩市民体育館	1975	2,740 ㎡	1,997 ㎡	●	●				
●				高萩市民球場	1972	31,296 ㎡	556 ㎡				●		
●				高浜スポーツ広場	1977	23,736 ㎡	868 ㎡			● (照明有)		● (照明有)	
						88,967 ㎡	3,620 ㎡	1施設	1施設	2施設	1施設	1施設	1施設

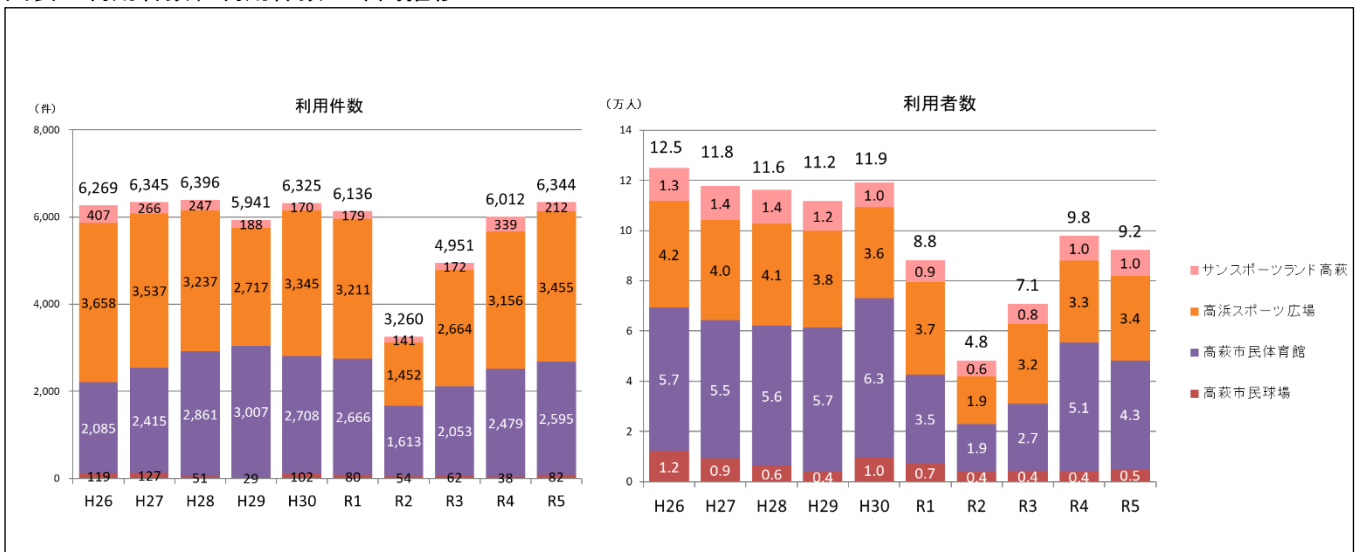
② 利用状況 A評価

■ 利用者数、利用件数の推移

スポーツ施設の利用者数は、令和元年度以降 10 万人以下となり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から令和 2 年度は 5 万人以下となりましたが、その後は回復傾向にあります。

年間利用件数は、約 6,000 件～6,300 件で推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から令和 2 年度以降 5,000 件を下回っていました。その後は利用者数と同様に、回復傾向にあります。

図表 利用者数、利用件数の年間推移

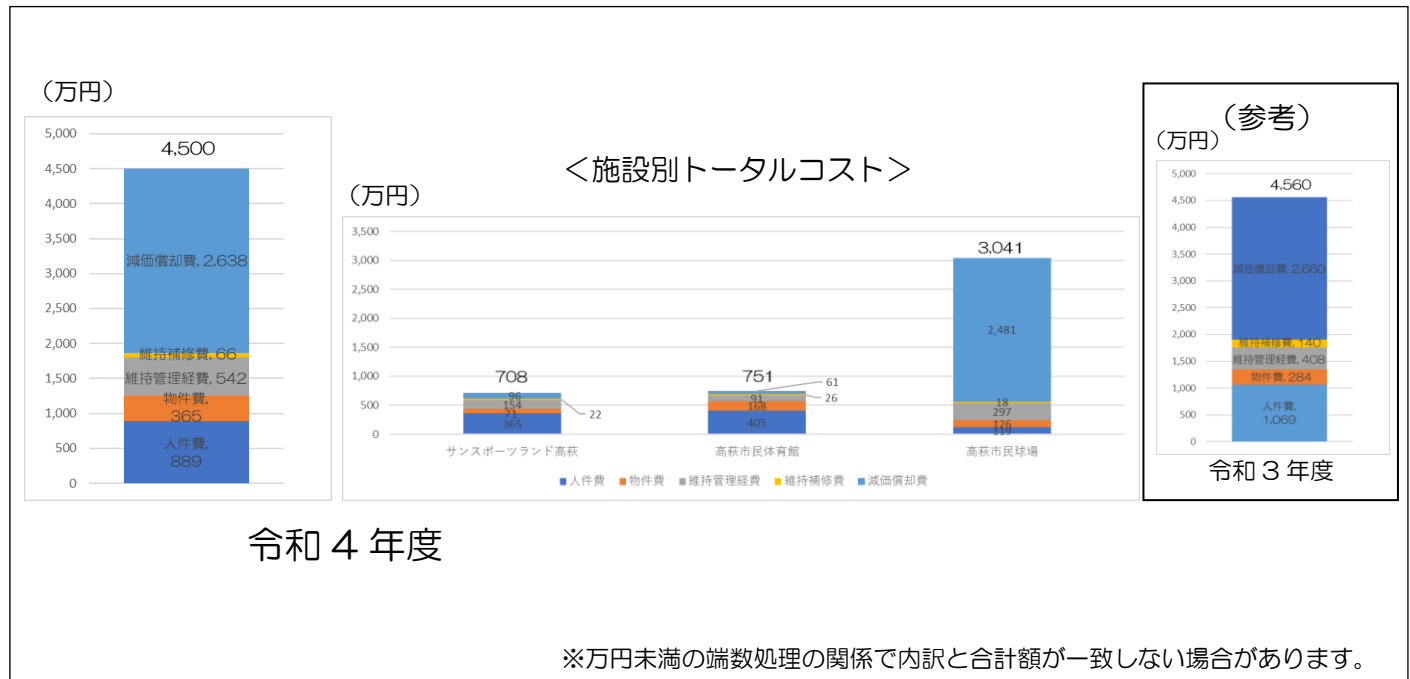


③ コスト状況

■ 体育施設トータルコスト

体育施設3施設のトータルコストは、4,500 万円です。施設別では、高萩市民球場の 3,041 万円が最も多くを占めています。

図表 体育施設トータルコスト



(5) 市営住宅

① 対象施設一覧

市営住宅は、7施設 37棟 628戸保有しています。

図表 施設一覧

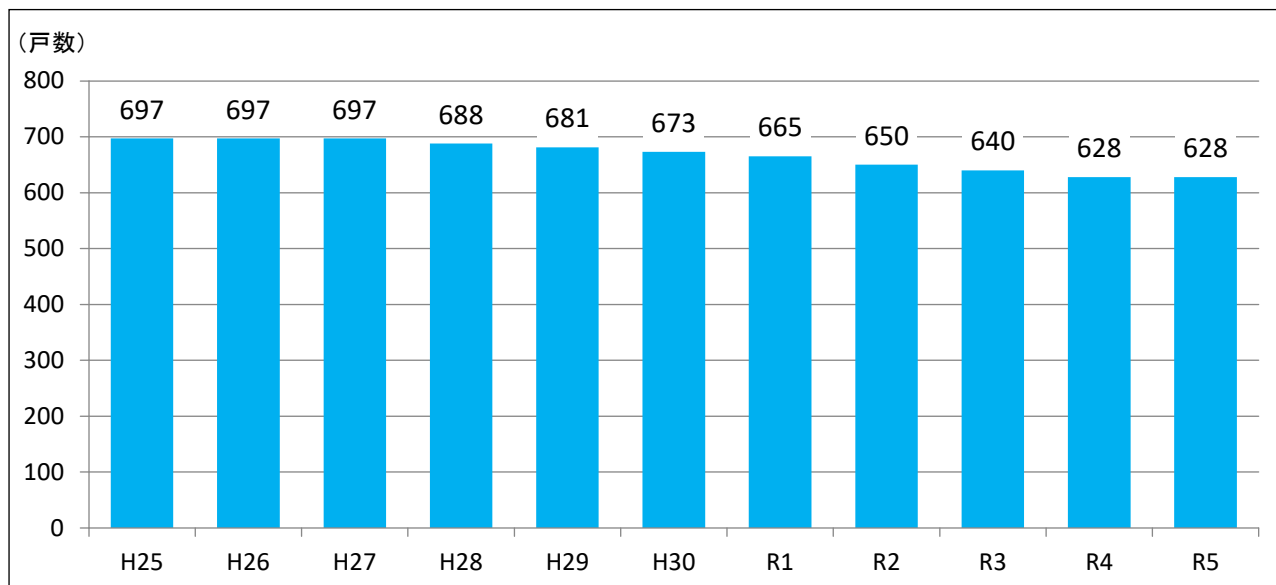
地域				施設名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	戸数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								
●				1 高浜住宅 1号棟	高萩市高浜町3-103	1,734	1984	RC	4・5F	24	
●				2 高浜住宅 2号棟		2,168	1986	RC	4・5F	30	
●				3 高浜住宅 3号棟		2,020	1983	RC	4・5F	30	
●				4 高浜住宅 4号棟		2,168	1985	RC	4・5F	30	
●				5 高浜住宅 5号棟		1,446	1983	RC	4・5F	20	
●				6 高浜住宅 6号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				7 高浜住宅 7号棟		1,930	1981	RC	4・5F	30	
●				8 高浜住宅 8号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				9 高浜住宅 9号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				10 高浜住宅 10号棟		2,020	1988	RC	4・5F	30	
●				11 高浜住宅 11号棟		2,168	1989	RC	4・5F	30	
●				1 高浜第二住宅 12号棟	高萩市 高浜町2-2	1,159	1983	RC	3・4F	16	
●				2 高浜第二住宅 13号棟		869	1984	RC	3・4F	12	
●				3 高浜第二住宅 14号棟		812	1986	RC	3・4F	12	
●				4 高浜第二住宅 15号棟		869	1987	RC	3・4F	12	
●				1 花貫住宅 1号棟	高萩市高浜町3-162-1	1,400	1994	RC	3～5F	18	
●				2 花貫住宅 2号棟		842	1994	RC	3～5F	11	
●				3 花貫住宅 3号棟		1,285	1994	RC	3～5F	16	
●				4 花貫住宅 4号棟		843	1995	RC	3～5F	11	
●				5 花貫住宅 5号棟		970	1995	RC	3～5F	12	
●				6 花貫住宅 6号棟		1,009	2004	RC	3～5F	11	
●				7 花貫住宅 7号棟		1,030	1997	RC	3～5F	12	
●				8 花貫住宅 A棟		323	1973	RC	3～5F	6	
●				9 花貫住宅 B棟		323	1973	RC	3～5F	6	
●				10 花貫住宅 C棟		920	1974	RC	3～5F	16	
	●			1 石滝住宅 1号棟	高萩市石滝2612	936	1975	RC	4・5F	16	
	●			2 石滝住宅 2号棟		1,170	1976	RC	4・5F	20	
	●			3 石滝住宅 3号棟		1,170	1977	RC	4・5F	20	
	●			4 石滝住宅 4号棟		1,170	1979	RC	4・5F	20	
	●			萩ヶ丘住宅 1～5号室	高萩市高萩761	170	1968	RC	簡平・簡二	5	廃止
	●			1 萩ヶ丘住宅 11～15号室		170	1968	RC	簡平・簡二	5	
	●			萩ヶ丘住宅 16～20号室			1969	RC	簡平・簡二		廃止
	●			萩ヶ丘住宅 21～25号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	廃止
	●			萩ヶ丘住宅 26～30号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	廃止
	●			萩ヶ丘住宅 31～35号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	廃止
	●			2 萩ヶ丘住宅 36～40号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	
	●			萩ヶ丘住宅 41～48号室		369	1972	RC	簡平・簡二	8	廃止
	●			3 萩ヶ丘住宅 49～56号室		342	1972	RC	簡平・簡二	8	
	●			坂東塚住宅 1～4.6号室	高萩市高萩761-4	237	1971	RC	簡二	5	廃止
	●			1 坂東塚住宅 7～13号室		277	1971	RC	簡二	7	
	●			坂東塚住宅 14～20号室			1971	RC	簡二	0	廃止
	●			坂東塚住宅 21～28号室			1970	RC	簡二	8	廃止
	●			坂東塚住宅 29～36号室			1972	RC	簡二	0	廃止
	●			坂東塚住宅 37～40号室			1972	RC	簡二	0	廃止
	●			坂東塚住宅 41～42号室		92	1970	RC	簡二	2	廃止
	●			坂東塚住宅 43～44号室		85	1972	RC	簡二	2	廃止
		●		1 手綱住宅北 1号棟(災害)	高萩市上手綱1217-3	562	2014	RC	3・4F	6	
		●		2 手綱住宅北 2号棟		680	2009	RC	3・4F	8	
		●		3 手綱住宅北 3号棟		738	2008	RC	3・4F	8	
		●		4 手綱住宅北 4号棟(災害)		1,826	2014	RC	3・4F	20	

② 利用状況 C 評価

■ 管理戸数の推移

市営住宅の管理戸数は、令和元年度 665 戸から令和 5 年度 628 戸と、微減傾向となっています。

図表 管理戸数の年間推移

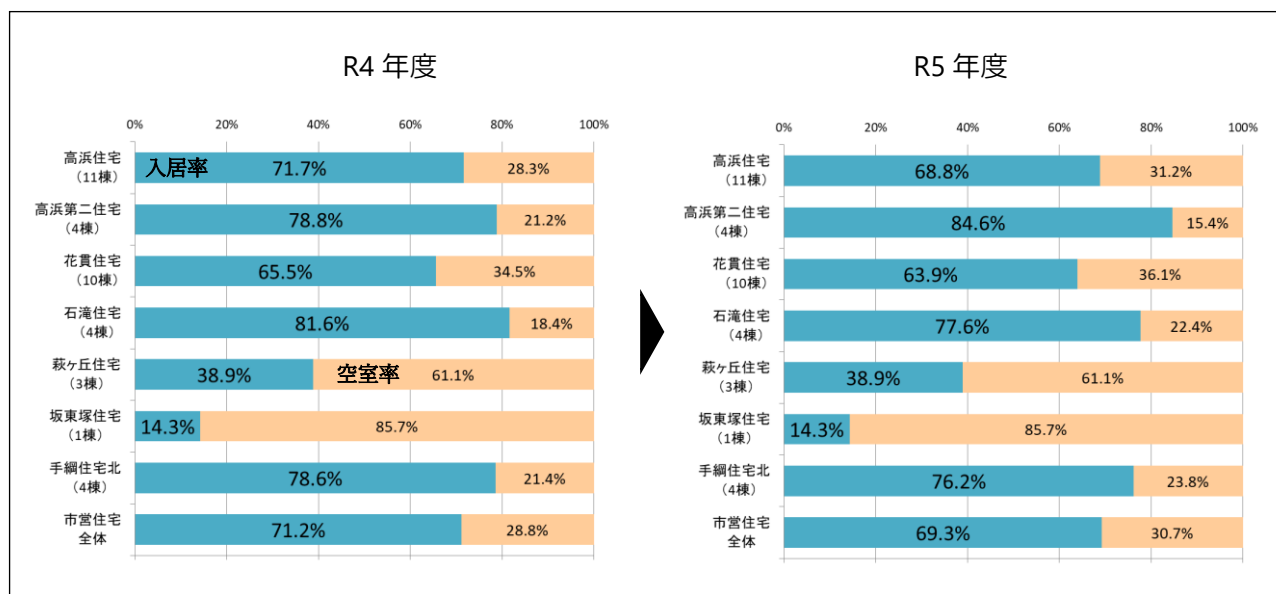


■ 入居率（各年度末時点）

令和 4 年度から令和 5 年度にかけて、高浜第二住宅以外、全体的に入居率は低下していますが、住替えの促進と併せて解体を進めています。

（現在の住替え対象住宅：萩ヶ丘住宅、坂東塚住宅、花貫住宅 A～C 棟）

図表 入居率の比較

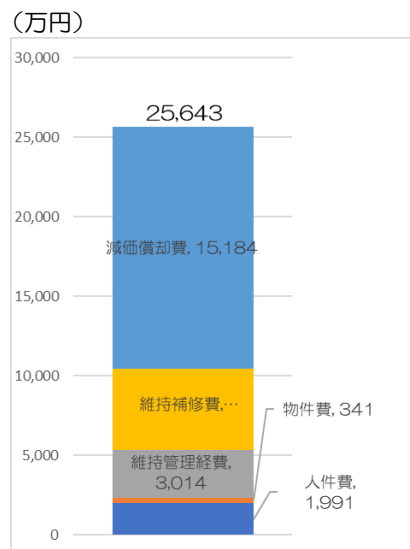


③ コスト状況

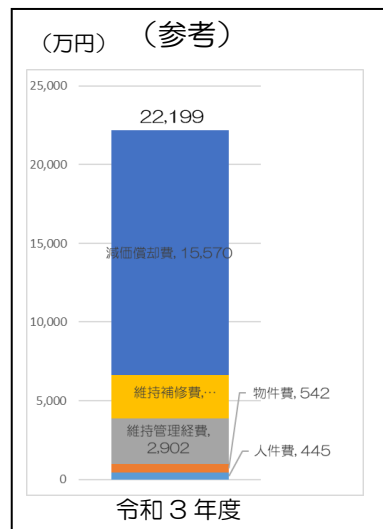
■ 市営住宅トータルコスト

市営住宅7施設のトータルコストは、2億5,643万円です。

z 図表 市営住宅トータルコスト



令和4年度

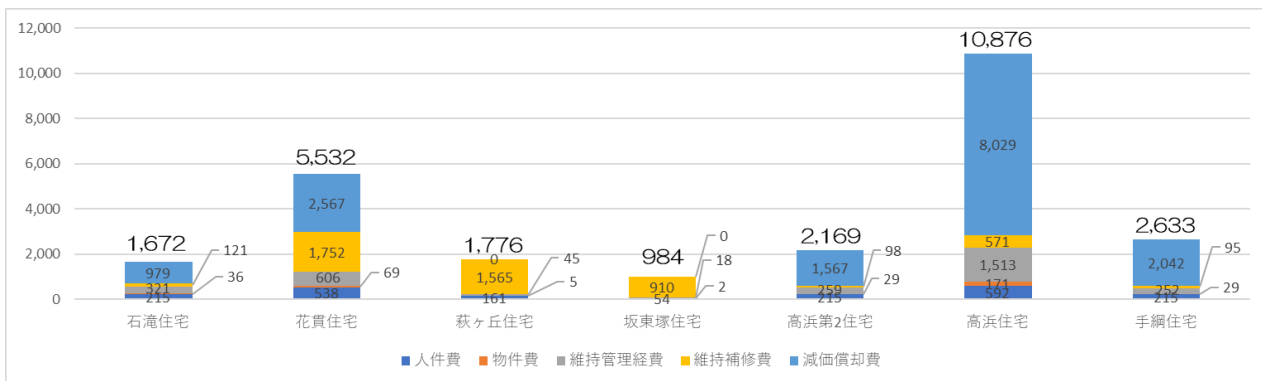


令和3年度

※万円未満の端数処理の関係で内訳と合計額が一致しない場合があります。

(万円)

<施設別トータルコスト>



令和4年度

(6) 学校施設

① 対象施設一覧

学校施設として、小学校4校、中学校3校、合計7校を保有しています。

図表 学校施設一覧（令和5年5月1日現在）

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)	
高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援
●				1 高萩小学校	高萩市安良川1048	6,594	1969	286	14	12	2
	●			2 秋山小学校	高萩市島名2161-1	5,601	1982	291	25	12	4
●				3 東小学校	高萩市有明町1-141	7,124	1973	158	14	6	3
		●		4 松岡小学校	高萩市下手綱43	5,458	2010	284	18	12	4
小学校 計						24,776		1,019	71	42	13
●				1 高萩中学校	高萩市高浜町1-77	8,759	1975	250	8	7	2
	●			2 秋山中学校	高萩市高萩273	6,980	1992	145	4	6	2
		●		3 松岡中学校	高萩市下手綱4	4,043	1985	164	12	6	2
中学校 計						19,782		559	24	19	6
学校施設 合計						44,558		1,578	95	61	19

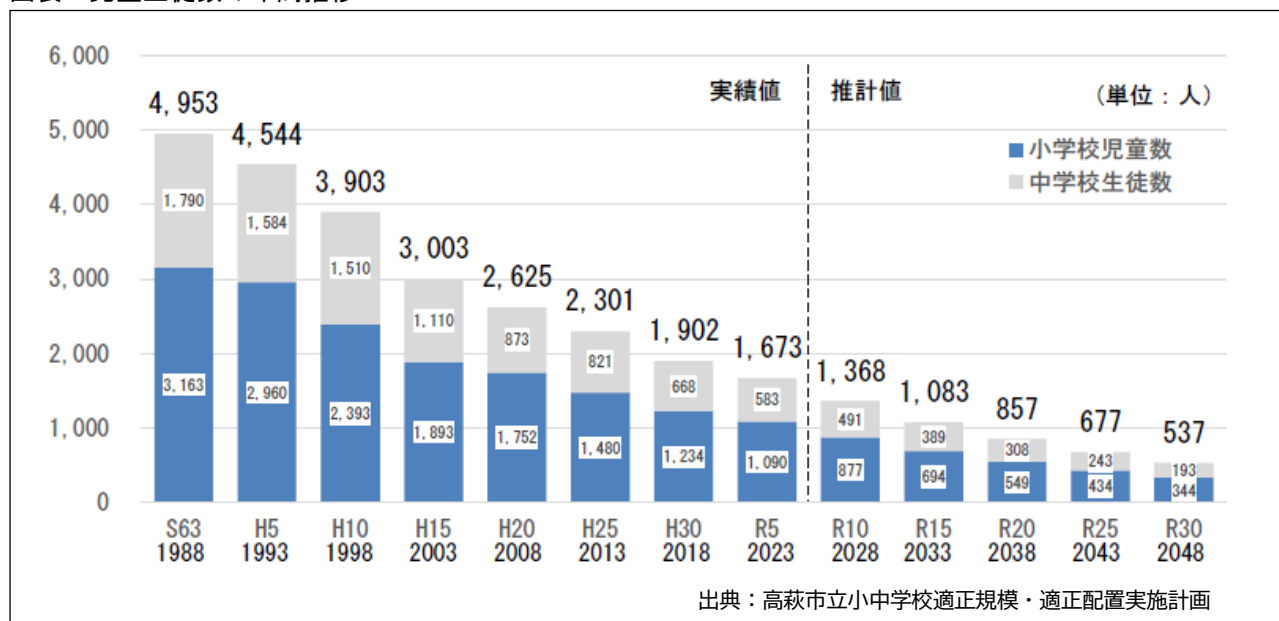
※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記載

② 利用状況 C 評価

■ 児童生徒数の推移

児童生徒数は、減少傾向が続いており、平成5年度4,544人から令和5年度時点で1,673人と約30年間で約63%減少しています。今後も減少する見込みとなっており20年後の令和25年度には677人と、現在からさらに約60%減少する予測となっています。

図表 児童生徒数の年間推移

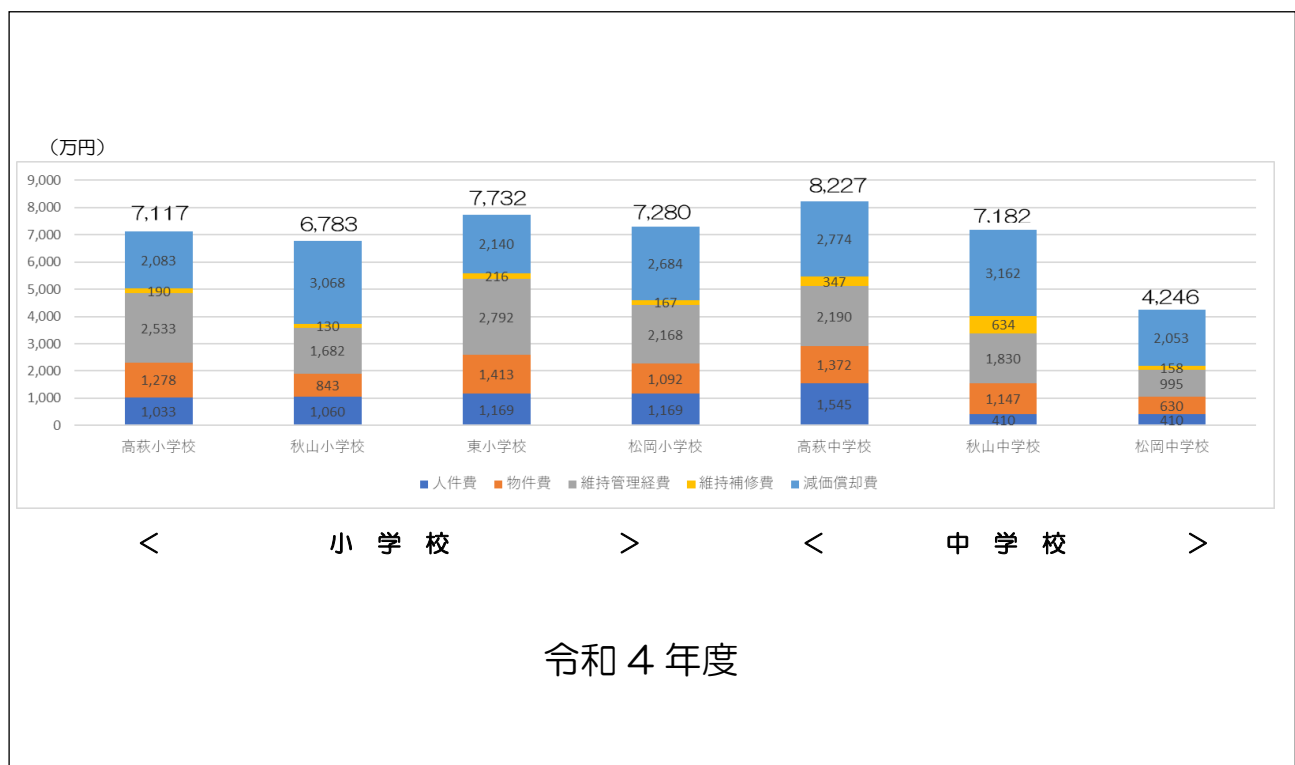
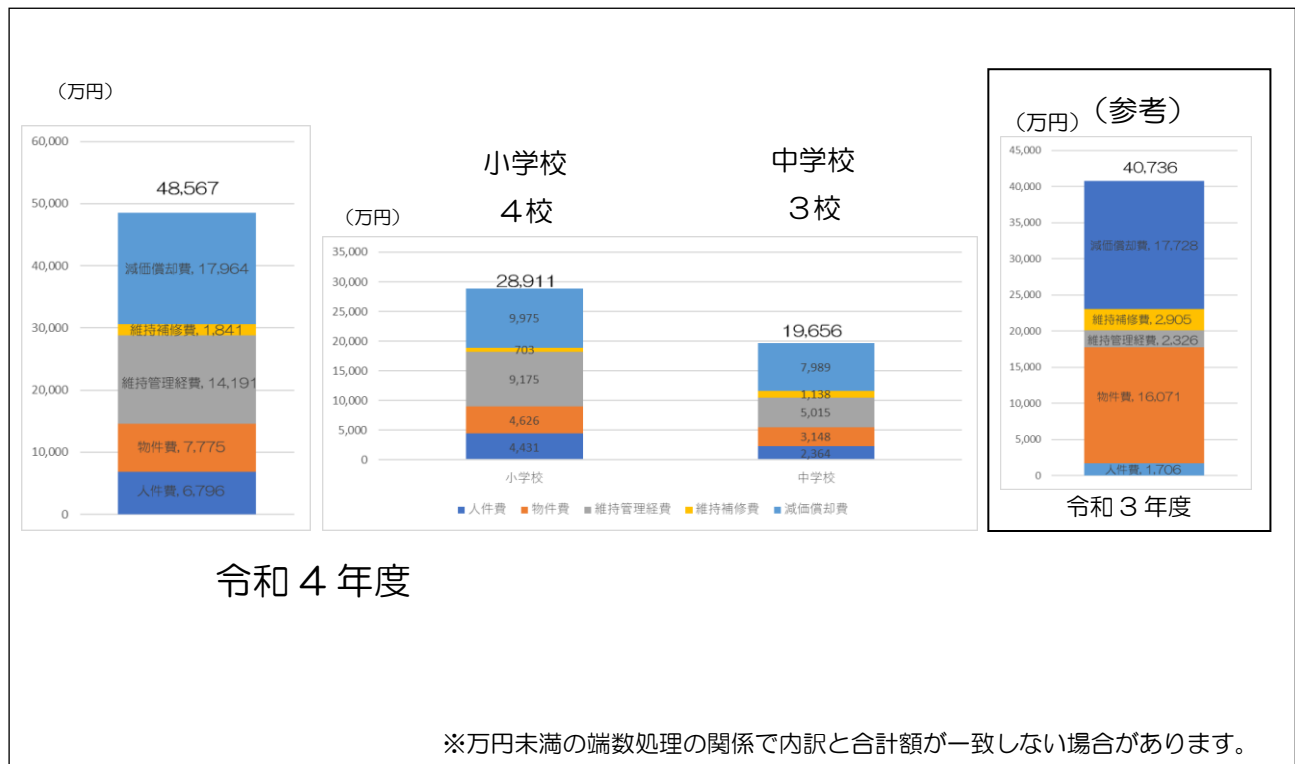


③ コスト状況

■ 学校施設トータルコスト

小学校4校のトータルコストは、2億8,911万円で、中学校3校のトータルコストは、1億9,656万円です。

図表 学校施設トータルコスト



(7) 保育所・幼稚園

① 対象施設一覧

管理計画改訂時には、保育所・幼稚園として、保育所1施設、幼稚園4園を保有していました。令和2年度に第一幼稚園の園舎を解体し、以降は第一幼稚園、東幼稚園ともに、東小学校校舎内で運営していました。

令和3年度には幼保一元化施設を整備し、令和4年度から高萩保育所、第一幼稚園、東幼稚園を統合し、たかはぎ認定こども園が開園しています。

残る幼稚園2園については、段階的にたかはぎ認定こども園に統合することとし、令和4年度末をもって松岡幼稚園が閉園し、また、秋山幼稚園は令和6年度末をもって閉園することとなっています。

図表 保育所・幼稚園施設一覧（令和5年度末時点）

	地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	運営	備考
	高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								
保育所	●				高萩保育所	高萩市本町3-118	510	1978	S	1F	市直営	R3年度閉所 R4年度建物解体
幼稚園	●				第一幼稚園	高萩市本町4-5	665	1978	S	1F	市直営	R2年度建物解体（幼稚園運営 は東小学校内） R3年度末で閉園しR4年度から 認定こども園に引き継ぎ
			●		松岡幼稚園 【閉校・廃止施設】	高萩市下手綱34	508	1987	W	1F	市直営	R4年度末で閉園しR5年度から 認定こども園に引き継ぎ
	●				東幼稚園 【閉校・廃止施設】	高萩市有明町1-141	526	1971	S	1F	市直営	建物既存 R3年度末で閉園しR4年度から 認定こども園に引き継ぎ
		●			秋山幼稚園	高萩市島名2230	588	1982	S	1F	市直営	
幼保一元	●				たかはぎ認定こども園	高萩市本町4-5	1,291	2021	W	1F	市直営	開園はR4

② 利用状況 A評価

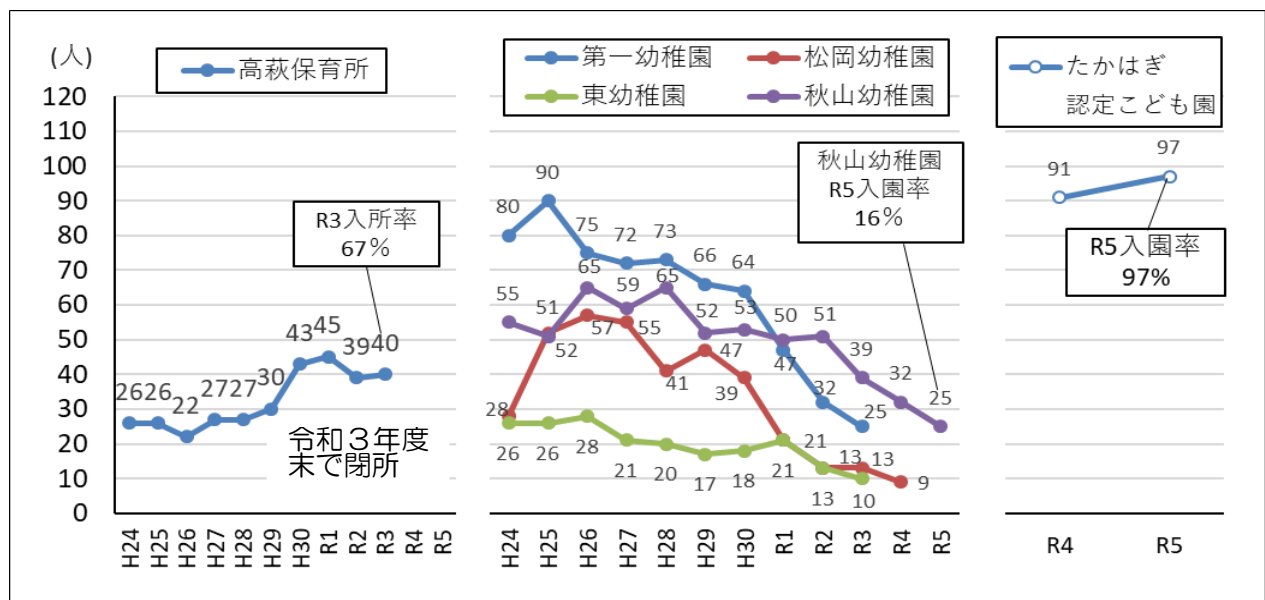
■ 園児数の推移

高萩保育所の児童数は、平成30年度以降40人前後で推移しており、令和3年度の入所率は67%でした。（令和3年度末で閉所）

幼稚園の園児数は減少傾向にあり、令和5年度の秋山幼稚園の入園率は16%でした。

たかはぎ認定こども園の園児数は、令和4年度の91人から97人と増加しており、入園率は97%でした。

図表 園児数の年間推移



③ コスト状況

■ 保育所・幼稚園トータルコスト

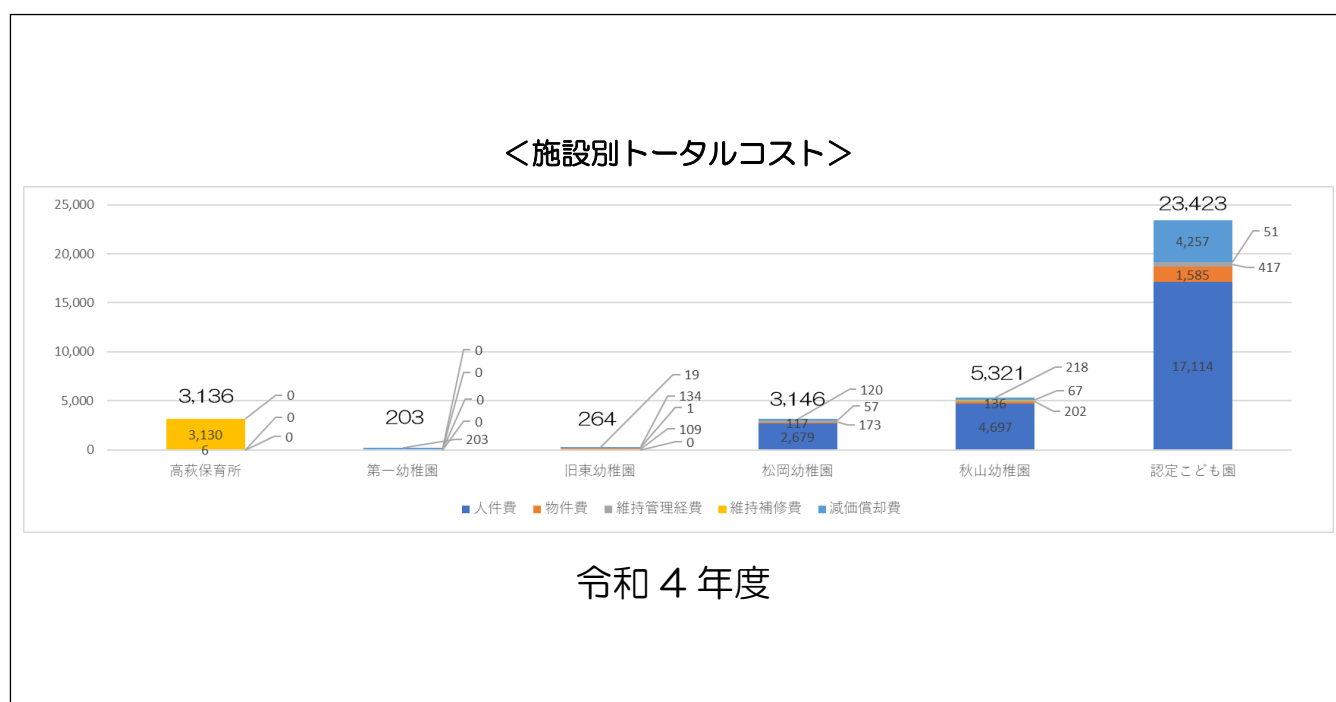
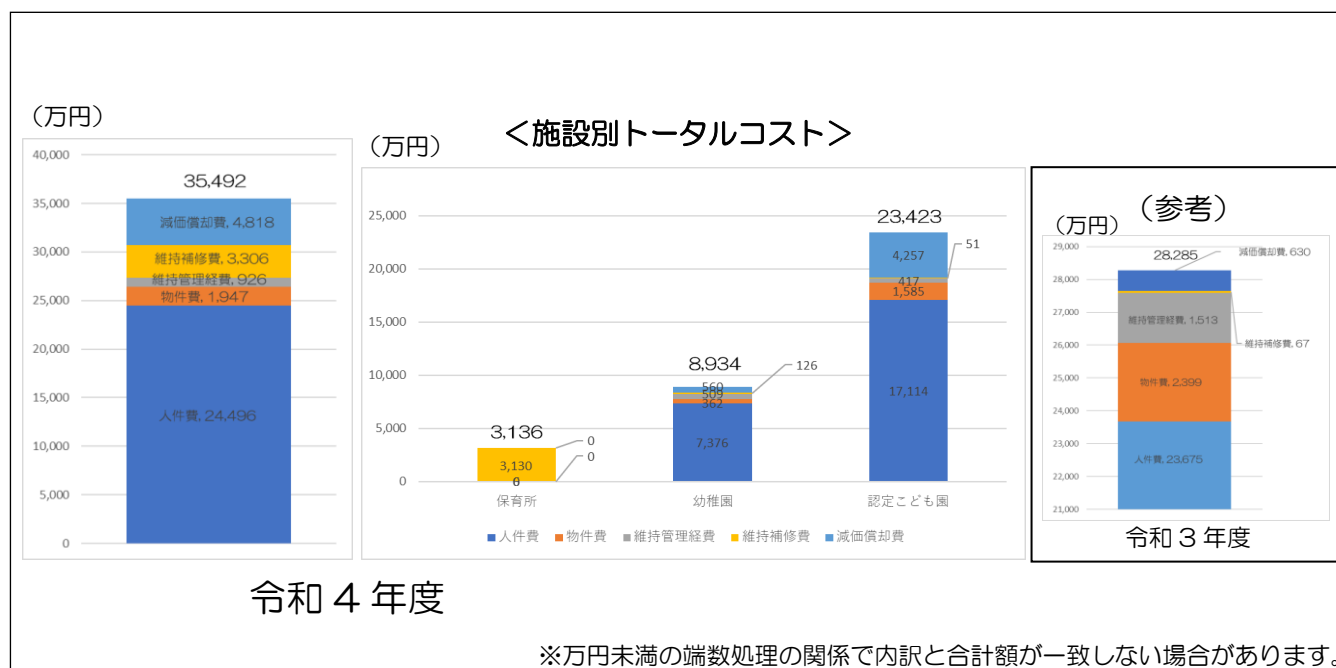
高萩保育所のトータルコストは、3,136 万円です。

幼稚園 4 園のトータルコストは、8,934 万円です。

認定こども園のトータルコストは、2 億 3,423 万円です。

高萩保育所、第一幼稚園、旧東幼稚園を統合し、たかはぎ認定こども園を開園したため、統合した 3 施設以外はいずれの施設も、コストの大半を人件費が占めています。

図表 保育所・幼稚園・認定こども園トータルコスト



(8) 図書館

① 対象施設一覧

図書館施設として、1施設保有しています。

図表 施設一覧（令和5年度時点）

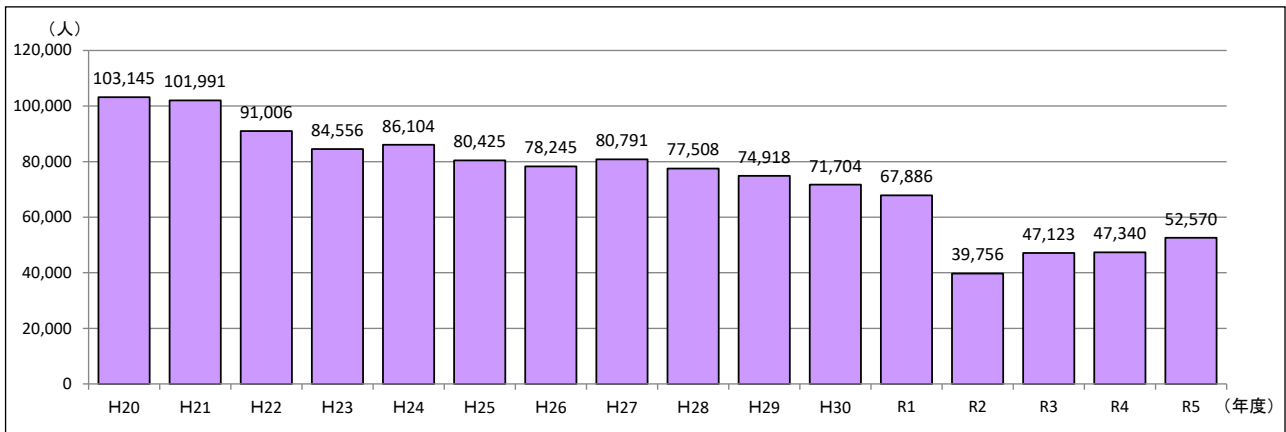
地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				高萩市立図書館	高萩市高萩8-1	1,313	1983	RC	2F	

② 利用状況 C 評価

■ 入館者数の推移

入館者数は、平成20年度約10.3万人から減少傾向にあり、令和2年度で4万人を下回っていましたが、令和3年度以降は増加傾向にあります。

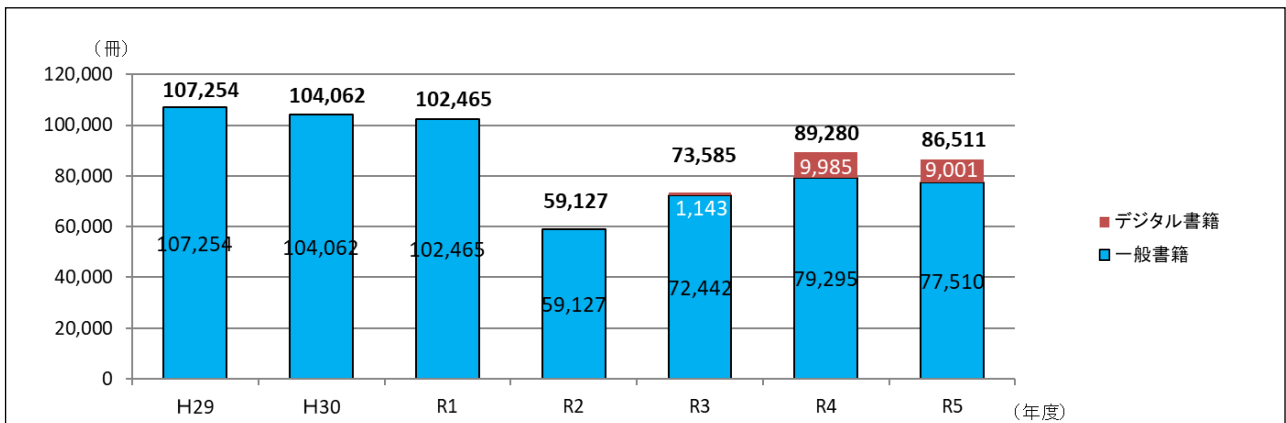
図表 入館者数の年間推移



■ 貸出冊数の推移

令和元年度まで、年10万冊程度で推移していましたが、令和2年度は6万冊を下回り、それ以降も10万冊を下回っています。

図表 貸出冊数の年間推移



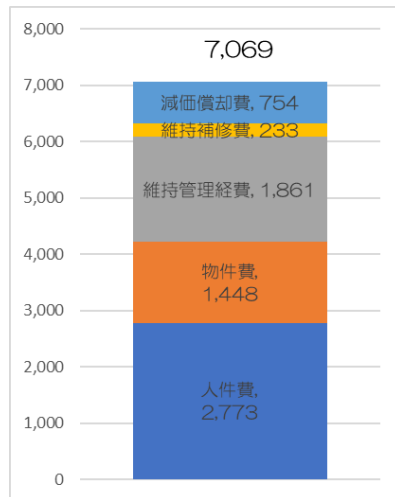
③ コスト状況

■ 図書館トータルコスト

図書館のトータルコストは、7,069 万円となっています。

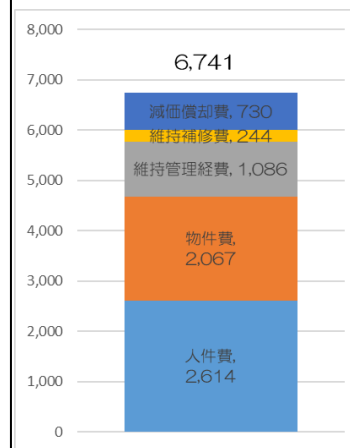
図表 図書館トータルコスト

(万円)



令和4年度

(万円) (参考)



令和3年度

※万円未満の端数処理の関係で内訳と合計額が一致しない場合があります。

※歴史民俗資料館コストも含まれます。

(9) 環境衛生施設

① 対象施設一覧

環境衛生施設として、リサイクルセンター、斎場、花貫クリーンセンターの3施設保有しています。

図表 施設一覧（令和5年度時点）

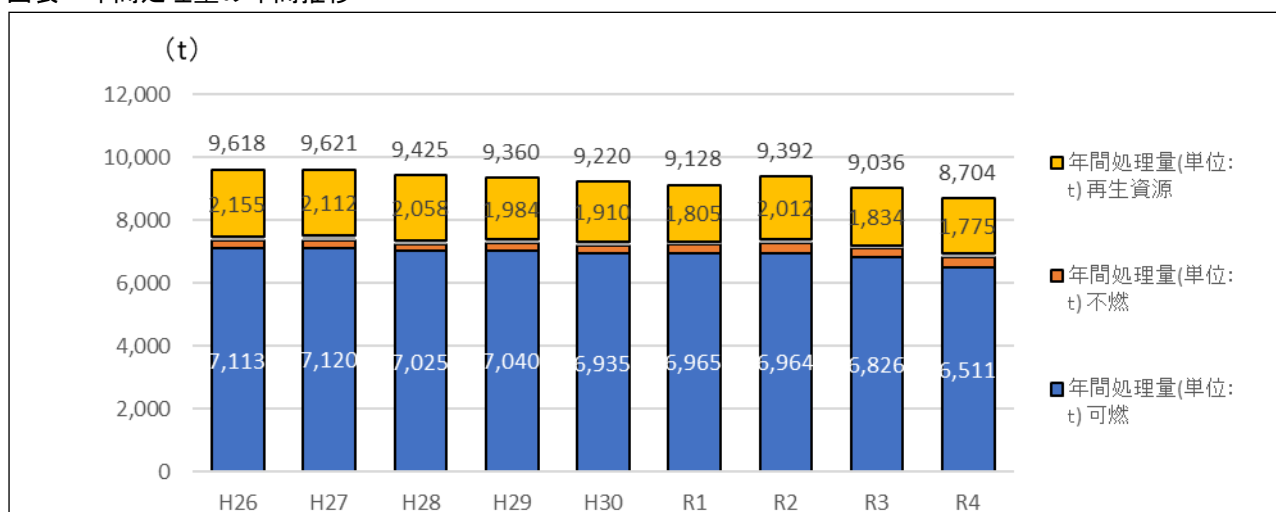
地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
		●		高萩市リサイクルセンター	高萩市大字赤浜2100-15	1,448	2011	S	2F	
●				高萩市斎場	高萩市安良川1332-1	1,151	1986	RC	1F	
●				高萩市花貫クリーンセンター	高萩市大字安良川505	1,970	1993	RC	2F	

② 利用状況 B評価

■ リサイクルセンター

直近5年間の年間処理量は約8,700～9,300tで推移しており、可燃の処理量が毎年全体の75%程度を占めています。また、令和5年度から一般廃棄物処理業務（し尿及び浄化槽汚泥を除く）は、高萩・北茨城広域事務組合へ移管しています。

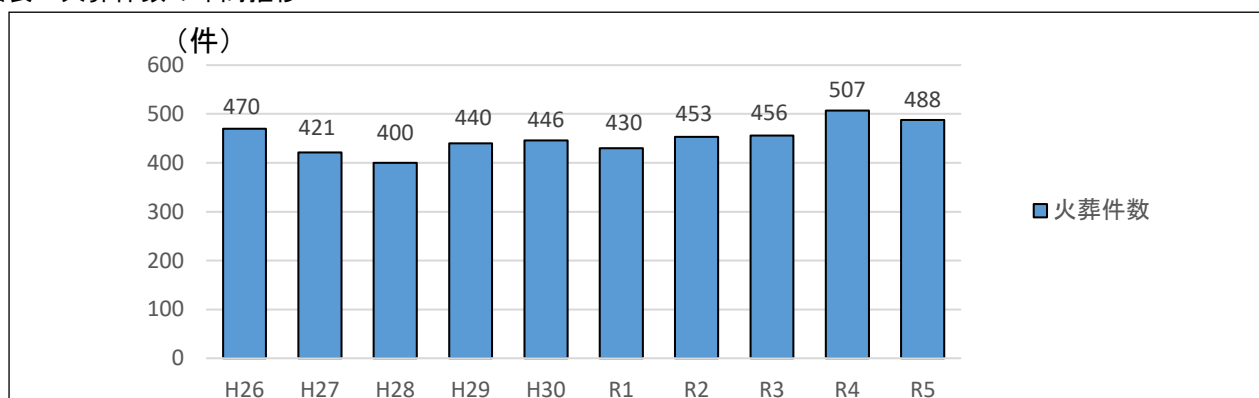
図表 年間処理量の年間推移



■ 斎場

直近5年間の年間火葬件数は、約430～500件で推移しており、年度により多少のばらつきはありますが、ほぼ横ばいとなっています。

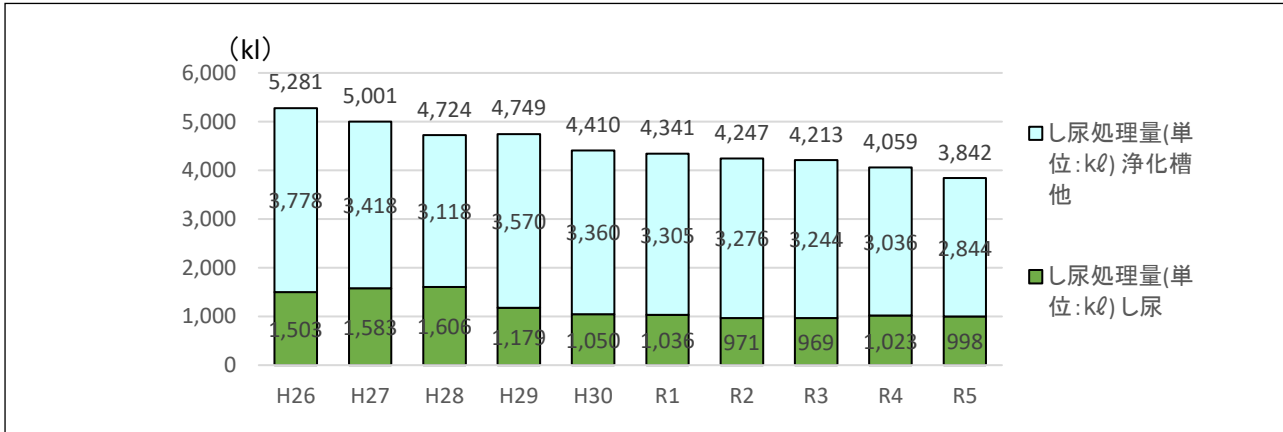
図表 火葬件数の年間推移



■ クリーンセンター

直近 5 年間の年間し尿処理量は約 3,800 kl~4,300 kl で推移しており、微減傾向となっています。

図表 し尿処理量の年間推移

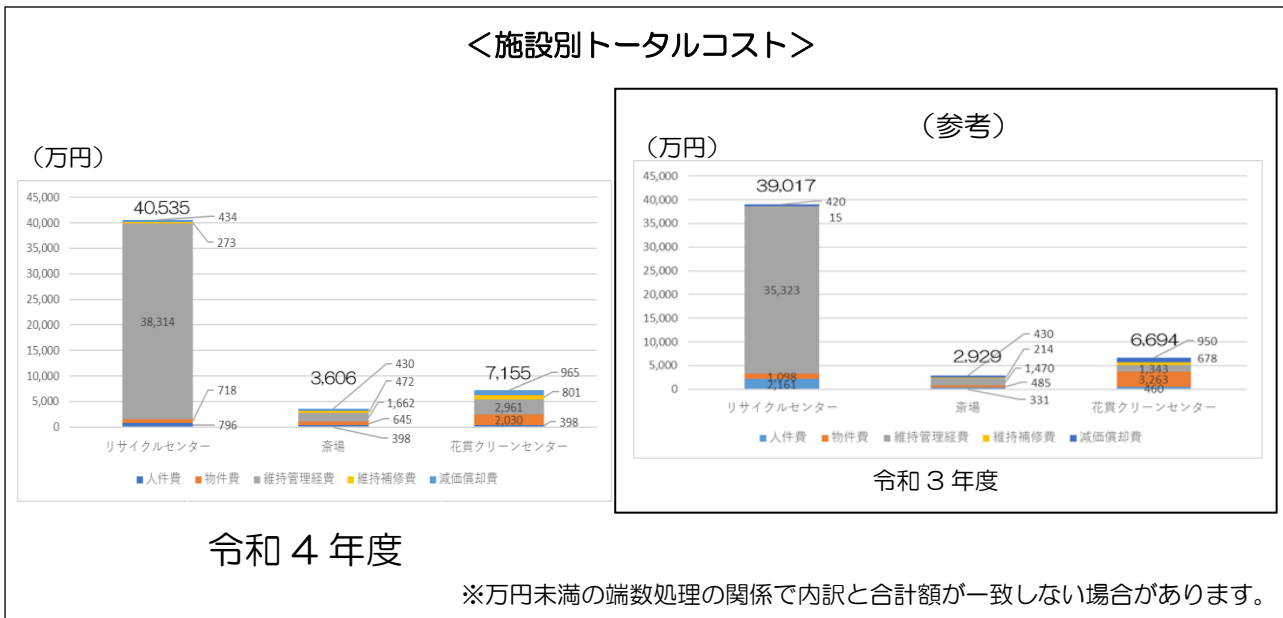


③ コスト状況

■ 環境衛生施設トータルコスト

施設別のトータルコストは、リサイクルセンターが 4 億 535 万円、斎場が 3,606 万円、クリーンセンターが 7,155 万円となっています。

図表 環境衛生施設トータルコスト



(10) 高萩市役所

① 対象施設一覧

本庁舎は、平成29年度新設の施設となっています。

図表 施設一覧（令和4年度時点）

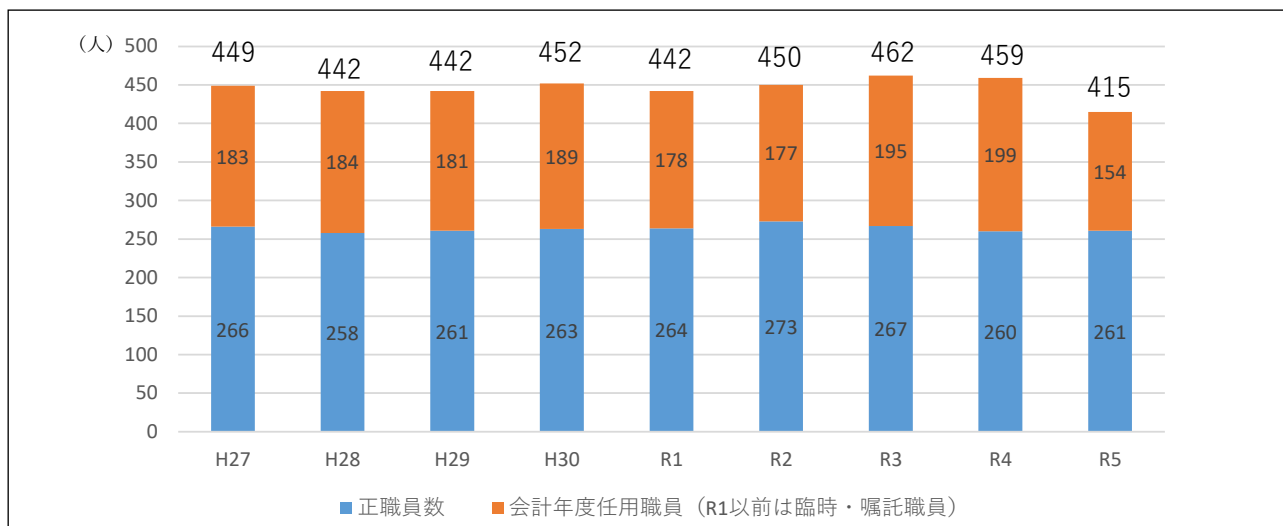
地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				市役所	高萩市本町1丁目100-1	6,365	2017	RC	4F	

② 職員数の推移

■ 本庁舎及び総合福祉センター職員

職員数は、令和4年度まで正職員・会計年度任用職員あわせて450人前後で推移していましたが、令和5年度になると415人となっています。これまで公立の放課後児童クラブ支援員が市の会計年度任用職員でありましたが、民間に委託したため減少しています。

図表 職員数の年間推移

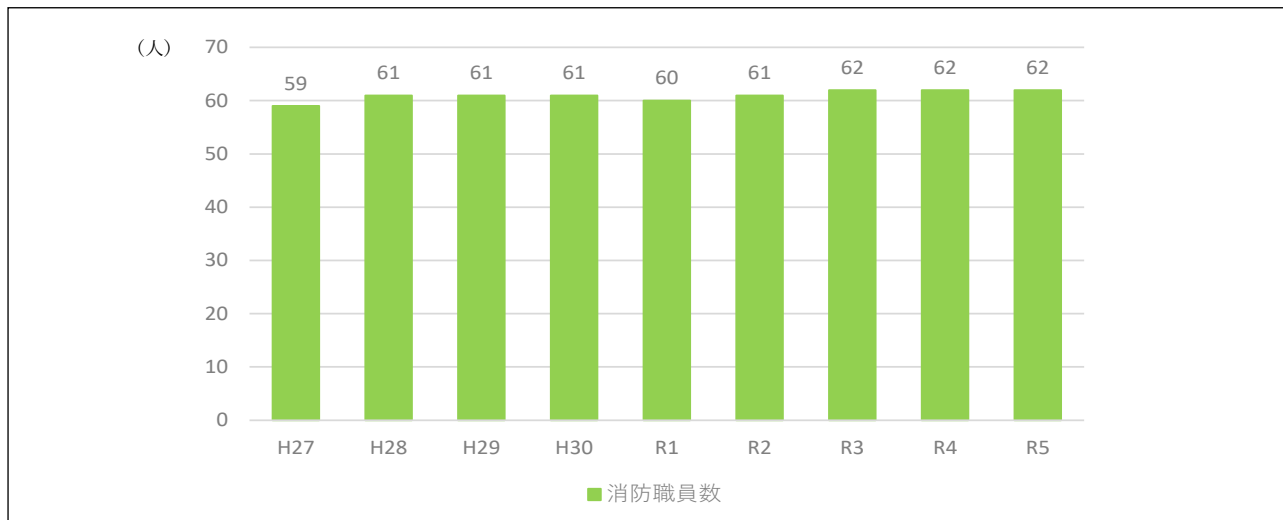


※本庁舎及び総合福祉センター等の職員含む

■ 消防職員の推移

消防職員数は、60人前後で推移しています。

図表 消防職員数の年間推移



7 個別施設計画の進捗および現状について

ここでは、令和5年度の実績と、それを踏まえた今後5年間の計画について見直し・整理します。

〔補足〕

- ・個別計画を推進するうえで、今後必要になる費用を見込むため、令和6年度以降の費用についても記載がありますが、あくまで推計用の数値であり、予算措置を確約するものではありません。
- ・管理計画は、延床面積を減らす目的で実施している計画のため、削減方法として、主に **解体** と記載していますが、具体的な削減方法は今後変更となる可能性があります。
- ・築年数については、特段の指定がない限り、令和5年度時点における築年数が記載されています。
- ・進捗状況の計画と実績の比較に関しては、2020～2024年は高萩市公共施設個別施設計画の年次計画と比較しております。2025年～2029年は前年度（令和4年度）実績報告の年次計画と比較しております。

（1）高萩市役所

① 現状と課題

- ・ 築6年であり、施設の不具合は生じていない。

② 施設類型の基本方針

- 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
市役所本庁舎											
更衣室棟											

※特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

【2023（令和5）年度の実績と今後の方向性】

（今後の方向性）

2030年（令和12年）～2039年（令和21年）の期間内に中規模修繕予定。

④ 2023（令和5）年度実績と計画の整合性

2023年度は計画していた取組はなく、判定するものがないため評価なし。

2) その他文化・教育施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は4棟である。
- ・ 文化会館は施設設備とも老朽化が進んでいる。また、歴史民俗資料館についても設備の老朽化が進んでいる。

■ 利用・運営状況

- ・ 施設数等に大きな変化はない。
- ・ 穂積家住宅は、一般開放・各種行事の場として活用している。
- ・ 高浜スポーツ広場、リーベロたかはぎ、文化会館の年間利用者数の推移は令和元年度までは5万人を越えていたが、令和2年度、3年度はほぼ半減した。しかし、令和5年度の利用者数は5万人を越えたため、回復傾向にある。
穂積家住宅、歴史民俗資料館についても、令和2年度以降3,000人以下で推移しており、減少傾向となっていたが、令和5年度は7,000人以上となっている。
- ・ 文化会館及び歴史民俗資料館は市の直営、穂積家住宅・リーベロたかはぎ及び高浜スポーツ広場は管理をシルバー人材センターへ委託している。

② 施設類型の基本方針

- 将来的な集約・廃止を見据え、長寿命化改修は行わずに、耐用年数までは、消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 学校の小中一元化に合わせて、機能を集約する。
- 文化財については、計画的な修繕を適宜実施し管理する。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
文化会館 [計画変更]											
文化会館 [計画変更前]			設計	中規模			中規模 150,800				
リーベロたかはぎ											
高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年ホーム)											
県指定文化財 穂積 家住宅											
歴史民俗資料館											

※文化会館、リーベロたかはぎ及び高浜スポーツ広場特定建築物定期点検（1回/3年）を実施

【2023（令和5）年度の実施事業】

（未達成の取組）

- ・文化会館、歴史民俗資料館について、設備は部分修理で対応する。また、市民体育館とともに、学校施設再編に合わせて複合化を検討。

（今後の方向性）

- ・文化会館、歴史民俗資料館について、設備は部分修理で対応する。また、市民体育館とともに、学校施設再編に合わせて複合化を検討。
- ・リーベロたかはぎは、総合福祉センターと一体的な活用を検討。
- ・高浜スポーツ広場は、部分補修で対応。
- ・穂積家住宅は、適切な保存に努めるとともに、計画的な修理を実施。集客性や利便性の向上及び活用方法を検討。

④ 2023（令和5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成できなかったためC評価。

(3) 体育施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 施設の劣化が顕在化しており、老朽化が進行している。また、設備の老朽化がみられる施設もある。

■ 利用・運営状況

- ・ 施設数等は大きな変化がない。
- ・ 令和2年度に、利用者数、利用件数は減少したが、令和3年度以降は回復傾向となっている。
- ・ 施設はシルバー人材センターへ委託している。

② 施設類型の基本方針

- 各種点検や計画的な修繕を適宜実施し、長寿命化を図る。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
サンスポーツランド 高萩											
高萩市民体育館 [計画変更]	中規模 10,215					20LED照明改修 20換気設備改修					
高萩市民体育館 [計画変更前]				設計	中規模						
高萩市民球場											
高浜スポーツ広場 (※1)											

※1 建屋の修繕計画は、「(2) その他文化・教育施設」の高浜スポーツ広場（旧勤労青少年ホーム）で記載

※ 高萩市民体育館及び高萩市民球場は特定建築物定期点検（1回/3年）を実施

【2023（令和5）年度 of 取組事業】

（未達成の取組）

- ・ 市民体育館は、文化会館、歴史民俗資料館とともに、学校施設再編に併せて複合化や代替施設の選定等を検討する必要があるため、修繕を行わなかった。

（今後の方向性）

- ・ 市民体育館は、文化会館、歴史民俗資料館とともに、学校施設再編に併せて複合化や代替施設の選定等を検討。
- ・ 設備は、部分修理で対応。

④ 2023（令和5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成できなかったためC評価。

(4) 図書館

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 40 年経過しており、設備は老朽化が進行している。

■ 利用・運営状況

- ・ 入館者数は、令和 2 年度に減少したが、令和 3 年度には回復傾向となっている。
- ・ 令和元年度まで、年 10 万冊程度で推移していましたが、令和 2 年度は 6 万冊を下回り、令和 3 年度以降についても 10 万冊を下回っています。
- ・ 市の直営となっている。
- ・ 令和 3 年 10 月 電子図書を導入 (2,770 タイトル)
- ・ 令和 5 年 2 月 いつでも読める 50 冊導入 (児童書) 学校の朝読に活用

② 施設類型の基本方針

- 学校の小中一元化に合わせて、他の公共施設へ機能を移転する。

③ 個別施設ごとの実績 (2023 (令和 5) 年度まで) と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用 (千円)

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
高萩市立図書館 [計画変更]	中規模 4,694	中規模 4,350				20LED照明改修 20-21トイレ改修					
高萩市立図書館 [計画変更前]		設計	中規模	中規模	中規模		中規模 131,300				

※特定建築物定期点検 (1 回/3 年) を実施

【2023 (令和 5) 年度 of 取組事業】

(未達成の取組)

- ・ 設備の老朽化は、部分修理で対応。

(今後の方向性)

- ・ 設備の老朽化は、部分修理で対応。
- ・ 学校施設再編に合わせて複合化を検討。

④ 2023 (令和 5) 年度実績と計画の整合性

計画どおり達成できなかったため C 評価。

(5) 福祉施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 総合福祉センターは、築 23 年と比較的新しい施設であるが、各所に修繕箇所が増えて
いる。また、各種設備についても更新時期を迎えている。

■ 利用・運営状況

- ・ コロナ禍の影響等により利用状況が低下したが、少しずつ回復傾向にある。
- ・ 市及び社会福祉協議会、高萩市シルバー人材センターの事務所をかねている。
- ・ 総合福祉センターは市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 各種点検や計画的な修繕を適宜実施し、長寿命化を図る。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和 5）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
総合福祉センター 〔計画変更〕	設計	中規模	中規模	集約化	中規模		中規模	中規模	中規模	中規模	中規模
	69,868	97,998	27,503	169,137	58,358		81,437	15,334	10,000	10,000	10,000
総合福祉センター 〔計画変更前〕	設計	中規模	中規模	中規模	中規模		中規模	中規模	中規模	中規模	中規模
							81,437	15,334	10,000	10,000	10,000
総合福祉センター (車庫棟) 〔計画変更〕								中規模			
								4,500			
総合福祉センター (車庫棟) 〔計画変更前〕	設計	中規模									

※特定建築物定期点検（1 回/3 年）及び消防設備点検（1 回/年）を実施

【2023（令和 5）年度の取組事業】

（達成した取組）

- ・ 中央公民館機能の集約化を図るため、総合福祉センター大広間等改修事業を行った。
- ・ 消防設備点検の実施。
- ・ その他必要に応じ館内の修繕を実施（設備の定期点検を行い状況が把握できているため）
- ・ 車庫棟の目視による点検（点検の結果、大きな異常が見られなかった）。

（今後の方向性）

- ・ 今後も、特定建築物等定期点検や設備などの定期点検を行うとともに、日常的な目視点検などで、的確な施設状況を把握し、計画的な修繕を行い建物の長寿命化に努めていく。
- ・ 令和 6 年度から開始予定の公民館機能の集約化についても、関係各課と連携しながら準備し、滞りないよう進めていく。
- ・ 車庫棟については、今後状況を見て、適宜修繕を行う。

④ 2023（令和 5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成したため A 評価。

中央公民館機能を総合福祉センターへ移転

中央公民館は昭和 46 年に完成。半世紀もの間、多くの人たちに利用されてきました。しかしながら、老朽化に伴う修繕や耐震補強による安全確保の必要性がありました。

そこで、公民館活動のさらなる躍進と利用者の利便性を高めるため、既存の総合福祉センターを改修し、中央公民館機能を総合福祉センターへ複合化を行い、令和 6 年 4 月より運用を開始しました。

■移転に伴う効果・工夫していること

- ・ 駐車場が 189 台停車できるようになり、利便性が増した。
- ・ 中央公民館を利用していた利用者が隣接するリーベロたかはぎも利用するようになった。
- ・ 貸出時間の最小単位が午前・午後・夜間であったところを 1 時間単位で行えるようにした。
- ・ フロアがバリアフリーで、エレベーターが完備されており、バス停もあるため、高齢者にとって利用しやすくなった。
- ・ 総合福祉センター内が広いので、デジタルサイネージによる案内を実施。

■市民の声

- ・ 全館バリアフリーでエレベーターも設置してあり大変ありがたい。
- ・ 駐車場が以前より増えていて助かる。
- ・ AI を活用した呼出型最適経路バス「MyRide のるる」の停留所となっているため、便利。などうれしいお声が届いています。

(6) 市営住宅

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 市が保有する築30年以上の施設のうち、約38%が市営住宅と、公共施設の中で最も老朽化が進行している。
- ・ 築40年以上の棟は18棟（約44%）で、大半の建物で劣化が顕在化しているが、良好な建物も5棟あり改修が行われている。

■ 利用・運営状況

- ・ 計画策定前を含め、萩ヶ丘住宅6棟、坂東塚住宅7棟が廃止となっている。
- ・ 人口減少により全体的に入居率は低下している。
- ・ 市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から廃止する。
- 民営化や民間住宅の借上げ方式への転換等により施設総量を圧縮する。
- 経過年数に限定せず、維持管理費とのバランスに留意して施設廃止を検討する。
- 施設敷地の維持管理等を考慮し、団地単位での廃止を原則とする。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
高浜住宅1号棟											
高浜住宅2号棟 [計画変更]										設計	
高浜住宅2号棟 [計画変更前]										設計	
高浜住宅3号棟 [計画変更]											
高浜住宅3号棟 [計画変更前]					設計						
高浜住宅4号棟 [計画変更]											
高浜住宅4号棟 [計画変更前]					設計						
高浜住宅5号棟 [計画変更]											
高浜住宅5号棟 [計画変更前]								設計	中規模		
高浜住宅集会所 [計画変更]									35,000		
高浜住宅集会所 [計画変更前]					設計				設計	長寿命化	
										25,449	

高浜住宅6号棟 [計画変更]				設計		中規模	30,000			
高浜住宅6号棟 [計画変更前]		設計	中規模							
高浜住宅7号棟 [計画変更]						設計	中規模	30,000		
高浜住宅7号棟 [計画変更前]			設計	中規模		中規模	35,189			
高浜住宅8号棟 [計画変更]						設計	中規模	30,000		
高浜住宅8号棟 [計画変更前]			設計	中規模		設計	中規模	35,000		
高浜住宅 ガス庫・ポンプ室										
高浜住宅9号棟 [計画変更]							設計	中規模	30,000	
高浜住宅9号棟 [計画変更前]				設計		設計	中規模	35,000		
高浜住宅10号棟										
高浜住宅11号棟 [計画変更]							設計	中規模	30,000	
高浜住宅11号棟 [計画変更前]							設計	中規模	35,000	
高浜第二住宅12号棟										
高浜第二住宅13号棟										
高浜第二住宅14号棟										
高浜第二住宅15号棟										
花貫住宅1号棟										
花貫住宅2号棟										
花貫住宅3号棟										
花貫住宅4号棟										
花貫住宅5号棟	中規模	14,201								
花貫住宅6号棟 [計画変更]								設計		
花貫住宅6号棟 [計画変更前]							設計	中規模	15,000	
花貫住宅集会室										
花貫住宅7号棟	設計		中規模	15,235						
花貫住宅A棟 [計画変更]			住替え					住替え		
花貫住宅A棟 [計画変更前]								住替え		

花貫住宅B棟 [計画変更]			住替え						住替え		
花貫住宅B棟 [計画変更前]									住替え		
花貫住宅C棟 [計画変更]			住替え						住替え		
花貫住宅C棟 [計画変更前]									住替え		
石滝住宅1号棟											
石滝住宅2号棟											
石滝住宅3号棟											
石滝住宅4号棟											
石滝集会所											
萩ヶ丘住宅1～5号室	解体	10,030				解体					
萩ヶ丘住宅11～15号室			住替え						住替え		
萩ヶ丘住宅21～25号室	解体	7,073				解体					
萩ヶ丘住宅26～30号室	解体	7,601				解体					
萩ヶ丘住宅31～35号室	解体	5,007				解体					
萩ヶ丘住宅36～40号室			住替え						住替え		
萩ヶ丘住宅41～48号室			解体	13,475		解体					
萩ヶ丘住宅49～56号室			住替え						住替え		
萩ヶ丘集会所			解体	2,002		解体					
坂東塚住宅1～4,6号室	解体	9,350				解体					
坂東塚住宅7～13号室			住替え						住替え		
坂東塚住宅41～42号室			解体	3,558		解体					
坂東塚住宅43～44号室			解体	3,287		解体					
坂東塚集会所			解体	2,186		解体					
手綱住宅北1号棟 (災害)											
手綱住宅北2号棟											
手綱住宅北3号棟 [計画変更]											
手綱住宅北3号棟 [計画変更前]								設計	中規模	15,000	
手綱住宅北4号棟 (災害)											

【2023（令和 5）年度の取組事業】

（未達成の取組）

事業の必要性を勘案した結果、次年度以降に先送りが適正と判断した。

（今後の方向性）

- 引き続き、萩ヶ丘住宅3棟（11～15号室、36～40号室、49～56号室）、坂東塚住宅1棟（7～13号室）について、他市営住宅への住み替えを促す。
- 花貫住宅A棟～C棟について、令和11年度までの用途廃止に向けて入居者に対して他の市営住宅への住み替えを促していく。
- 高浜住宅6号棟、7号棟及び8号棟の中規模修繕に関しては、特定財源の確保につとめながら、令和9年度までに実施する。

※今後の計画については、第2次高萩市公営住宅等長寿命化計画（令和2年3月策定）における長寿命化のための維持管理計画：計画修繕・改善事業の実施予定一覧＜住棟部分＞との整合を図るため修正を行った。

④ 2023（令和 5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成できなかったためC評価。

(7) コミュニティ施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は21棟（約40%）ある。また、築20年未満の棟についても劣化が見られ、全体的に劣化が進行している。

■ 利用・運営状況

- ・ 利用者は全体的に減少傾向にあり、小規模集会施設では1日当たりの利用が1人未満の施設が大半を占めており、管理計画改訂時からさらに利用者が減少している。
- ・ 住民1人当たりの利用回数は、以前同様高岡地域が相対的に多くなっているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全体的に利用者・利用回数は減少している。
- ・ 集会所・生活改善センターについては、市直営施設で地元住民の方を管理人として委嘱している。

② 施設類型の基本方針

- 集会所・生活改善センター・公民館分館の管理課が異なるため、管理を一元化し、施設の具体的な集約・廃止方針を検討する。
- 将来的な集約・廃止を見据え、長寿命化改修は行わずに、耐用年数までは、消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 現在利用頻度が低い施設については、耐用年数が残っていても中規模修繕は行わず、事後保全とする。
- 集約後の施設は、用途廃止後、解体を基本とする。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
中央公民館					集約化 3,703	中央公民館機能は総合福祉センターへ集約 2024年4月総務課へ所管替え ※2024年度3,703千円は実施設計委託、9月補正計上	解体 67,461				
安良川公民館		解体 11,194	解体 10,630			解体 安良川公民館328.67㎡解体。敷地494.36㎡は総務課へ移管					
松岡地区公民館 [計画変更]					施設の集約・ 廃止方針を 検討		設計 6,125	中規模 61,256			
松岡地区公民館 [計画変更前]					中規模 61,256						
石滝集会所 (2023.4～石滝集会所)			所管替え			2023年4月総務課へ所管替え	施設の集約・ 廃止 方針の決 定		施設の集約・ 廃止の決定方針 に基づき実施		
竹内集会所 (2023.4～竹内集会所)			所管替え			2023年4月総務課へ所管替え					
若栗集会所 (2023.4～若栗集会所)			所管替え			2023年4月総務課へ所管替え					
中戸川集会所 (2023.4～中戸川集会所)			所管替え			2023年4月総務課へ所管替え					

[illegible]

秋山生活改善センター			中規模		2022年 秋山生活改善センタートイレ改修工事 2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
			3,483							
秋山下生活改善センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
秋山中集落センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
島名多目的研修会館					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
山手集落センター (山手公民館)					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
北組コミュニティセンター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
上手綱生活改善センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
下組生活改善センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
石舟生活改善センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
赤浜田園都市センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
大能生活改善センター		中規模			2021年 大能生活改善センタートイレ改修工事 2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
		5,214								
上君田生活改善センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
横川生活改善センター					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
横川多目的集会所施設 (体育館)						設計	解体			
						4,000	31,000			
横川多目的集会所施設 (校舎)						設計	解体			
						上記に含む	上記に含む			
緑の郷コミュニティセンター [計画変更]			中規模		2023年 緑の郷コミュニティセンタートイレ等改修工事 2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
			9,372							
緑の郷コミュニティセンター [計画変更前]						施設の集約・廃止方針の決定	施設の集約・廃止の決定方針に基づき実施			
大金田多目的集会所				施設の集約・廃止方針を検討	2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
鳥曽根多目的集会所					2025年4月総務課へ所管替え予定	所管替え				
高萩市里山交流館					上君田生活改善センターとの集約・廃止方針を検討					
高萩市民センター		中規模			2021年 トイレ洋式化改修工事					
		18,150								
森林公園 [計画変更]				設計	2022年度策定の基本構想を基に、2023年度からサウディング型市場調査により進めていく。 2024-25は屋外多目的トイレを予定	建替				
森林公園 [計画変更前]						建替				
花貫物産センター (処理所・加工場)							設計	中規模		
								44,500		
花貫物産センター (食堂・調理室)							設計	中規模		
								47,250		

※200 ㎡以上の集会所、生活改善センター及び高萩市民センターに関しては特定建築物定期点検（1 回/3 年）を実施。

※公民館（地区公民館を含む）は、消防設備点検（1 回/年）を実施。また、その他のコミュニティ施設も、消防設備点検（2 回/年）を実施

【2023（令和5）年度の取組事業】

（達成した取組）

- 管理を一元化するために、石滝公民館、竹内公民館、若栗公民館、中戸川公民館は、総務課に移管した（令和5年度から集会所として位置づけられた）

（未達成の取組）

- 全体的なコミュニティ施設の集約・廃止方針の決定（令和元年度にコミュニティ施設部会を開催し、各施設の利用実態の把握、統廃合に向けたルール作りについて検討することに取り組んだ。しかしながら、施設の集約・廃止の前提となるコミュニティのあり方について協議を進めているため、施設の集約・廃止方針の決定までには至っていない）。

（今後の方向性）

- コミュニティ施設の集約・廃止の方針について、集会所所管課の業務の見直し及び人員増強を行い、コミュニティ施設部会の体制整備を図る。その上で令和7年度までにコミュニティ施設集約・廃止方針を決定し、施設の統廃合等を進める。
- 中央公民館は、令和6年度に総合福祉センターに機能を移転させ、福祉施設に社会教育施設を統合することで、施設の複合化を図る。今後は、松岡地区公民館についても、同様に検討していく。
- 生活改善センターは、集会所として移管を検討。
- 森林公園は、基本構想をもとに、民間事業者活用の検討。
- 花貫物産センターは、高岡地域の活性化を図るための拠点施設であり、今後も適正に管理していく。

④ 2023（令和5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成できなかったためC評価。

(8) 学校施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築 40 年以上の棟は 14 棟 (56%) で老朽化が進行しているが、建物によっては良好な建物もあり、改修が行われている。

■ 利用・運営状況

- ・ 君田小中学校は松岡小中学校へ統合した。
- ・ 平成 29 年度に東幼稚園を東小学校内に複合化した。
- ・ 児童生徒数は減少傾向にあり、今後 20 年で約 60%減少予測となっており、将来の児童生徒数に見合った学校規模や配置を検討する。
- ・ 小中学校ともに、水泳の授業を外部委託しており、プールの利用はなし。

② 施設類型の基本方針

- 将来の児童生徒数を見据え、適正規模・適正配置により総量を圧縮する。
- 学校のプールは、順次解体する。

③ 個別施設ごとの実績 (2023 (令和 5) 年度まで) と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用 (千円)

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
高萩小学校 北側教室棟											
高萩小学校 南管理・教室棟											
高萩小学校 体育館											
高萩小学校 プール [計画変更]											
高萩小学校 プール [計画変更前]				設計							
				解体							
東小学校 特別教室棟				(仮称) 高萩市立 小中学校	小中学校 適正規 模・適正 配置実施 計画をも とに、個 別施設設計 画を策定 (2024～) ※プール 解体も計 画の中で 検討する。		小中学校適正規模・適正配置実施計画を もとに、個別施設計画を策定(2025～) ※プール解体も計画の中で検討する。				
東小学校 普通教室棟				適正規 模・適正 配置実施 計画							
東小学校 管理・特別教室棟											
東小学校 体育館											
東小学校 プール											
高萩中学校 普通教室棟西側											
高萩中学校 特別教室棟西側											
高萩中学校 技術室											

高萩中学校 武道場													
高萩中学校 体育館													
高萩中学校 プール													
秋山小学校 管理・教育棟													
秋山小学校 北側校舎													
秋山小学校 体育館													
秋山小学校 プール													
秋山中学校 普通教室棟													
秋山中学校 管理・特別教室棟													
秋山中 体育館													
秋山中学校 プール													
松岡小学校 教室棟													
松岡小学校 体育館													
松岡小学校 プール	設計 解体 30,910												
松岡中学校 普通教室棟													
松岡中学校 特別教室棟													
松岡中学校 普通教室棟増築分													
松岡中学校 体育館													
松岡中学校 プール													
学校給食センター													
高萩小中一貫校施設													

設計
解体
30,910

解体

内部検討開始

学校施設は小中学校適正規模・適正配置実施計画を策定することから、学校給食センターについても施設維持管理について内部検討を開始。

学校施設の個別施設計画とあわせて、学校給食センターについても個別施設計画を策定(2023年度)

設計

5,335

集約する学校施設は小中学校適正規模・適正配置実施計画をもとに検討。(令和5年度に決定)

設計

3,500,000

建設

【2023（令和 5）年度の取組事業】

（達成した取組）

- 令和 4 年度に学校適正規模・適正配置基本方針を策定し、令和 5 年度に小中学校適正規模・適正配置実施計画を策定した。

（今後の方向性）

- 小中学校プールの解体については、防火貯水槽としての利用も想定されるため、地域防災力の低下にならないよう消防と協議を進める。
- 高萩中学校、秋山中学校については、令和 5 年度から水泳授業の外部委託を実施。令和 6 年度には、松岡中学校も開始し、全校外部委託とする予定。プール施設の解体を順次検討。
- 学校給食センターは、令和 12 年度以降の建て替え等を検討。

④ 2023（令和 5）年度実績と計画の整合性

高萩小学校プールの解体計画については、防火貯水槽としての利用を想定しているため取り壊しを行わなかった。他の施設については、学校適正規模・適正配置実施計画等を策定し、計画どおりに進行しているためA評価。

(9) 保育所・幼稚園

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 令和2年度に、第一幼稚園を解体している（なお、令和4年度には高萩保育所を解体している）。
- ・ 秋山幼稚園は築30年以上経過しており、いずれの棟も劣化が顕在化している。
- ・ 令和3年度には、たかはぎ認定こども園を整備している。

旧松岡幼稚園は、今回から廃止施設に分類替えしています。

■ 利用・運営状況

- ・ 令和4年度から高萩保育所、第一幼稚園、東幼稚園を統合し、たかはぎ認定こども園を開園している。
- ・ たかはぎ認定こども園の入園率は97%で市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 将来的には幼保一元化を推進し、現在保有する5施設を集約して総量を圧縮する。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
高萩保育所	幼・保一元化施設へ移転 解体 31,295					解体					
第一幼稚園	幼・保一元化施設へ移転 解体 30,000					解体					
秋山幼稚園 [計画変更]				幼・保一元化施設へ移転		令和6年度末で閉園	幼・保一元化施設へ移転	設計 解体 33,000			
秋山幼稚園 [計画変更前]								設計 解体 33,000			
たかはぎ認定こども園 [計画変更]	設計・建設 802,200			中規模	1,020	保育室水道の温水器設置工事					
たかはぎ認定こども園 [計画変更前]	設計・建設 802,200										

【2023（令和5）年度の実績と計画の整合性】

（達成した取組）

- ・ 令和4年度に高萩保育所を解体。
- ・ 幼・保一元化施設たかはぎ認定こども園について、計画どおり設計・建設を行い、令和4年度に開園。

（今後の方向性）

- ・ 秋山幼稚園は、令和6年度末に閉園。令和7年度にたかはぎ認定こども園へ統合。閉園後の秋山幼稚園施設は解体を検討。

④ 2023（令和5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成したため A 評価。

(10) 環境衛生施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 4 棟のうち、1 棟は築 12 年で劣化は見られないが、築 30 年以上が 3 棟あり、劣化が顕在化している。

■ 利用・運営状況

- ・ リサイクルセンターでの一般廃棄物処理業務（し尿及び浄化槽汚泥を除く）は、令和 5 年度から高萩・北茨城広域事務組合へ移管した。
- ・ クリーンセンターの稼働状況はほぼ横ばいで推移している。
- ・ 斎場の運営は外部委託で、利用は年度によりばらつきがある。

② 施設類型の基本方針

- 施設の稼働率等を考慮の上、施設の更新時に適正規模を検討し圧縮を図る。
- リサイクルセンターでの一般廃棄物処理業務（し尿及び浄化槽汚泥を除く）は、令和 5 年度から高萩・北茨城広域事務組合へ移管したため、その後の利活用を検討する。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和 5）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	計画		計画	計画	計画	計画	計画
高萩市リサイクルセンター			利活用検討								
高萩市斎場 [計画変更]			中規模		長寿命化 38,055			設計 2,300	長寿命化 23,020		
高萩市斎場 [計画変更前]								設計	長寿命化 23,020	長寿命化 23,020	
高萩市花貫クリーンセンター（処理棟）	中規模 21,120	中規模 3,850									
高萩市花貫クリーンセンター（管理棟）											

【2023（令和 5）年度の実績】

（未達成の取組）

- ・ 高萩市リサイクルセンターの利活用検討（令和 5 年度に災害廃棄物仮置き場としての利用実績から、利活用方針を見直すため）。

（今後の方向性）

- ・ 高萩市リサイクルセンターは、一般廃棄物処理業務（し尿及び浄化槽汚泥を除く）が、令和 5 年度から高萩・北茨城広域事務組合へ移管されたことに伴い、災害関連施設及び大規模災害時等の災害廃棄物仮置き場として利用していく。
- ・ 高萩市斎場は長寿命化（令和 8 年）を実施し、高萩市花貫クリーンセンターは中規模修繕（令和 12 年）を実施し、施設管理に努める。

④ 2023（令和 5）年度実績と計画の整合性

高萩市リサイクルセンターについては、利活用検討について未達成であったが、他の施設については達成できたためB評価。

(11) 消防施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上は12棟（約52%）であるが、建物によっては良好な建物もあり、改修が行われている。
- ・ 市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 耐用年数まで消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 消防庁舎は、津波浸水想定エリアにあるため、建替えについては場所を含め検討する。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2024年 見込		2025年 計画	2026年 計画	2027年 計画	2028年 計画	2029年 計画
高萩市消防本部 [計画変更]	中規模 12,375	中規模 6,945		中規模 3,795		20年度トイレ改修工事 21年度消防庁舎訓練塔LED改修工事 23年度変電設備等改修工事及び仮眠室エアコン更新 25年度消防庁舎外壁塗装	中規模 31,523				
高萩市消防本部 [計画変更前]				設計	中規模						
第1分団消防詰所											
第2分団消防詰所											
第3分団消防詰所											
第4分団消防詰所											
第5分団消防詰所			中規模 680			22年下水道切替工事					
第6分団消防詰所			中規模 636			22年下水道切替工事					
第7分団消防詰所											
第8分団消防詰所			中規模 495			22年下水道切替工事					
第9分団消防詰所											
第10分団消防詰所 [計画変更]				中規模 1,034		23年下水道切替工事					
第10分団消防詰所 [計画変更後]											
第11分団消防詰所											
第12分団消防詰所		中規模 1,064				21年下水道切替工事					
第13分団消防詰所 [計画変更]				中規模 1,039		23年下水道切替工事					
第13分団消防詰所 [計画変更前]											

第14分団消防詰所		中規模				21年下水道切替工事					
		871									
第15分団消防詰所		中規模				21年下水道切替工事					
		803									
第16分団消防詰所											
第17分団消防詰所											
第18分団消防詰所											
第19分団消防詰所											
第20分団消防詰所											
第21分団消防詰所											
防災行政無線中継局											

【2023（令和5）年度の取組事業】

（達成した取組）

- ・庁舎屋上にある変電設備等が、耐用年数を迎えたことから更新を実施する。
- ・変電設備等改修工事の差金を流用し、故障した仮眠室のエアコン設備を整備する。
- ・汲み取り式トイレを下水道に接続するための工事を実地する。

（今後の方向性）

- ・計画に沿って実施していく。

④ 2023（令和5）年度実績と計画の整合性

計画どおり達成したためA評価。

(12) 閉校・廃止施設

① 現状と課題

- ・ 君田小中学校は松岡小中学校へ統合した。
- ・ 旧第2庁舎は築34年であるが、劣化が顕在化している。旧仮設庁舎D棟は築11年で建物の状態も良好である。
- ・ 旧第2分庁舎は、外部団体に貸付をしている。
- ・ 旧分庁舎及び旧仮設庁舎D棟は倉庫として有効活用している。
- ・ 松岡幼稚園は用途廃止し、民間への売却も含め保有資産を減らす方向で検討する。

② 施設類型の基本方針

- 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設は解体する。
- 利活用を検討する。
- 旧君田小中学校については、定期貸付（10年）をしている。貸付期間中の修繕等は借受け者が実施する。

③ 個別施設ごとの実績（2023（令和5）年度まで）と今後の方向性

施設名	年次計画					備考	年次計画				
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
	実績	実績	実績	実績	見込		計画	計画	計画	計画	計画
旧分庁舎 [計画変更]					売却						
旧分庁舎 [計画変更前]	解体 工事										
旧第2分庁舎						農業共済及び多賀医師会に一部貸付 教育委員会で一部使用					
旧仮庁舎分室会議室 [計画変更]					貸付	令和6、7年度で観光協会に貸付け	貸付	調査 調査	解体	7,380	
旧仮庁舎分室会議室 [計画変更前]	調整 調査	解体 工事					調整 調査	解体		7,380	
旧仮設庁舎D棟											
倉庫（駒木原倉庫）	解体 16,500					解体					
旧君田小学校		民間事業者に貸付中						民間事業者に貸付中			検討
		歳出なし						歳出なし			
旧君田中学校		民間事業者に貸付中						民間事業者に貸付中			検討
		歳出なし						歳出なし			
旧君田小中学校体育館		民間事業者に貸付中						民間事業者に貸付中			検討
		歳出なし						歳出なし			
旧東幼稚園 [計画変更]		幼・保一元化施設へ移転				たかはぎ認定こども園の供用開始の2022年から5年以内に解体	調査 調査	解体			
								33,000			
旧東幼稚園 [計画変更前]		幼・保一元化施設へ移転						学校再編後の学校施設利活用と併せて検討			
			解体								
旧松岡幼稚園 [計画変更]				幼・保一元化施設へ 移転							
旧松岡幼稚園 [計画変更前]											

※旧仮設庁舎D棟は、消防設備点検（2回/年）を実施

【2023（令和 5）年度の取組事業】

（今後の方向性）

- 旧分庁舎は、代替となる施設の確保を行い、民間に売却を実施。
- 旧仮庁舎分室会議室は、代替となる施設の確保を行い、解体を実施。
- 旧第2分庁舎は、令和 12 年～令和 21 年の期間内に施設解体予定。
- 旧仮設庁舎 D 棟は、長寿命化対策を実施し、使用継続。
- 旧東幼稚園舎は、東小学校敷地内にあることから、学校施設再編後の学校施設の利活用と併せて検討。

④ 2023（令和 5）年度実績と計画の整合性

2023 年度は計画していた取組はなく、判定するものがないため評価なし。

8 コストシミュレーションについて

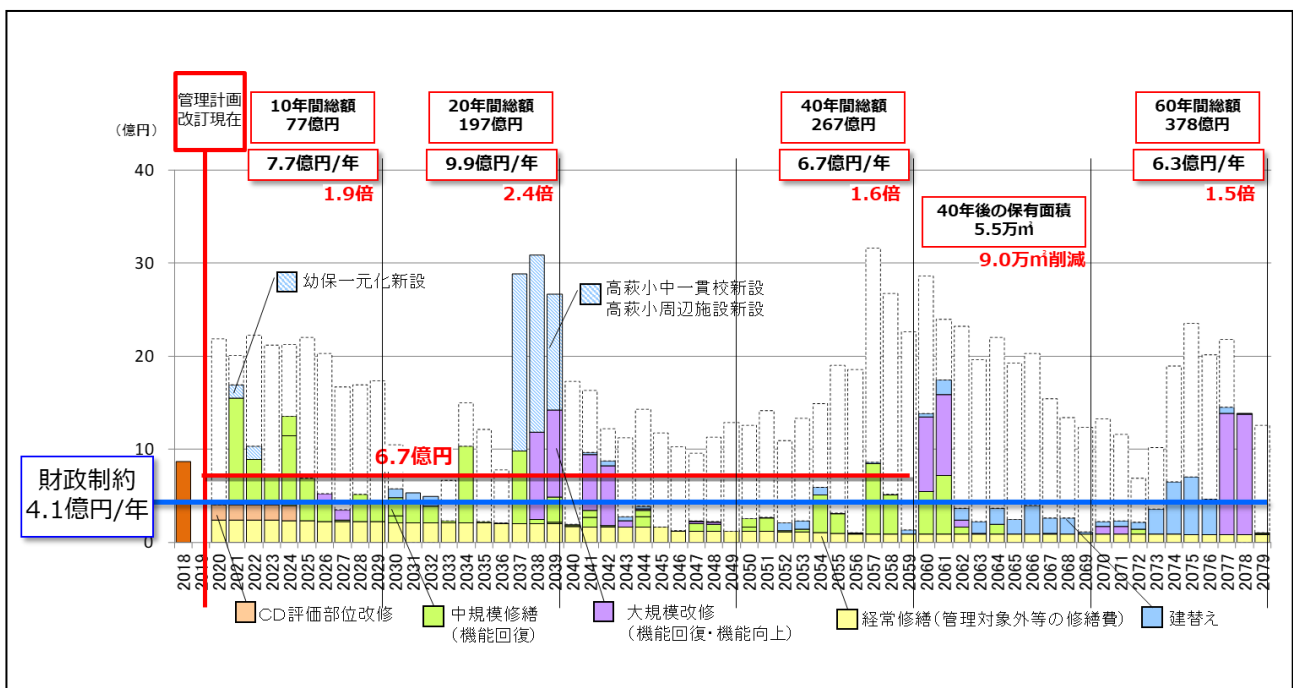
公共施設総量圧縮によるコスト削減

管理計画では、施設類型別の改善の方向性に基づき、機能移転や複合・集約化等を順次実施し、維持する施設については適切な更新を行った場合の更新費用を算出しています。

段階的に再編を実施することで、最終的には、面積は約 5.5 万㎡、現状から約 9.0 万㎡削減される計画となっています。それに伴う更新費用は、令和 2 年度から令和 11 年度の 10 年間では、77 億円・年平均 7.7 億円と試算しています。

「7 個別施設計画の進捗および現状について」で推計した費用は、9 年間で 63 億円・年平均 7 億円であり、シミュレーションより下回りますが、同程度の更新費用を見込んでいます。

図表 公共施設総量圧縮した場合のコストシミュレーション



9 最近の主な取組

令和5年度に行った主な取組は以下のとおりです。

【保有量適正化のための取組】

- さくら宇宙公園トイレの解体及び新設

【集約化・複合化のための取組】

- 総合福祉センターへ中央公民館の機能移転に向けての準備
- 小中学校適正規模・適正配置実施計画の策定

【施設情報の管理】

- 施設カルテの導入に向けた取組

このほか、令和6年度において、すでに以下のとおり取り組んでいます。

【集約化・複合化のための取組】

- 総合福祉センターへ中央公民館の機能移転
- 学校施設整備基本構想・基本計画の策定
- コミュニティ施設の管理を一元化に向けた取組（生活改善センターを総務課に移管）
- 秋山幼稚園のたかはぎ認定こども園への統合に向けた準備

【施設情報の管理】

- 施設カルテの整備

10 今後について

本報告書では、管理計画全体の事業実施体制や事業実施過程の評価および成果指標の進捗状況の評価を行いました。

庁内体制や委員会による評価体制の構築ができ、財政状況も鑑みて予算を確保し、執行できたことから事業実施体制は「十分であった」と評価しています。

また、事業実施過程について、全体的なコミュニティ施設のあり方の検討が進みませんでした。が、コミュニティ施設で延床面積が最大である中央公民館機能を総合福祉センターへ集約化するための取組を行ったことから、「実施目標には届かなかったが実施した」と評価しています。

また、管理計画の目標である、延床面積の削減は、前年比マイナス 0 m²（マイナス 9.8 m²）で単年度及び累計の削減面積共に目標には届かず、人口減少も伴い、市民 1 人当たりの延床面積も増加したことから、「改善が見られない」と評価しました。

今後も引き続き、進捗が滞っている事業については、事業推進を図るための方策を検討するとともに、各関係部署で連携し、進捗状況や課題を共有しながら体制構築を推進していきます。

また、ハード面だけではなく、日々仕訳に対応した※1データベースの蓄積（施設カルテ※2の整備）によって、施設を体系的に捉え、データに基づきながら施設の集約化・複合化を検討するとともに、公共施設マネジメントを進めるうえで課題となる財源確保に向けて、施設の集約化に伴う遊休資産の利活用や官民連携の取組について研究してまいります。

※1…財務会計システムに日々仕訳を導入したことに伴い、執行情報と資産情報が連携する仕組みとなった。

また、それを活かしたデータベースとすることで、コスト状況がリアルタイムで見えるようになり、保全状況の見える化につながるもの。

※2…施設の基本情報のほか、収支状況や運用状況などの情報を、施設ごとにまとめたもの。

公共施設マネジメントとSDGs

将来にわたり持続可能なまちであるために

○ 公共施設の適正な管理運用と効率かつ多様性のある活用

市民が利用しやすい公共サービスを提供するために、ストック資産の有効的な運用を進めます。



講評

今回、本委員会では、高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の取組や方向性について評価を行いました。

全体の事業実施体制については「十分であった」と評価しましたが、全体の事業実施過程については「不足していた」と評価しました。

公共施設の評価（成果指標）に関しては、延床面積、稼働率、行政コスト、老朽化度において「改善が見られない」と評価しました。

計画との整合性については、福祉施設、学校施設、保育所・幼稚園、消防施設は「実施目標を達成している」と評価した一方、文化・教育施設、市営住宅、コミュニティ施設は「実施目標未達成」と評価しました。

このように、個別に成果が出ている分野はあるものの、全体としては、いまだ改善すべき点が多いとの結果となりました。

そもそも、管理計画、個別施設計画は、市の公共施設が老朽化している現状に鑑み、市民の安全性、財政の持続性確保のために必要不可欠なものとして推進されています。きわめて迅速に解決しなければならない課題でありながら結果が付いて来ないという理由は、問題の深刻さが十分認識されていない点にあると思います。そこで、付帯意見として、「概要版を作成し、市民への説明・普及啓発を行うこと。」「市民との合意形成や庁内検討の際、施設別コスト情報を活用すること。」の2点を提言しました。

管理計画、個別施設計画の前提となる分析は、客観的情報を用いて分かりやすく行うことに努めています。その結果が十分に浸透していないことを率直に反省しつつ、さらに分かりやすさを追求した概要版を作成して、実際に様々な場で活用していく必要があると考えています。

右肩上がりの時代は、多くの公共施設がある状態が豊かだと思われてきました。しかし、人口が減少し、また、世界的にSDGsが推進される中で、私たちは、「施設の負担を減らして豊かな地域となるように知恵を絞りなさい」と言われているように思います。

委員会の審議の過程で、令和6年4月に中央公民館機能を総合福祉センターへ移転したことの報告を受けました。現在、この施設は、総合福祉センターでありつつ中央公民館でもあるという最先端の方法で、多くの市民にさまざまな活用をされはじめています。このように負担を減らしてサービスを充実させることは可能なのです。今後とも、すべての分野で工夫が重ねられていくことを強く期待いたします。

高萩市公共施設管理計画策定委員会
会 長 根 本 祐 二

参 考 資 料

1. 公共施設等管理計画の基本方針

(1) 公共施設（マネジメントの大方針）

《大方針》

1. 市民サービスの維持向上のため、必要機能を検証し、適切な保有量へ総量を圧縮する

- ・機能の最適化を図り、行政サービスレベルの維持向上と総量の圧縮を実現
- ・将来人口変化・構成の変化に応じた市民ニーズへの対応と身の丈に合った施設総量の実現を果たす

2. 既存施設の効果的な複合化・多機能化を図る

- ・施設が集中する市街地(市東部)において、適正量・適正配置の実現
- ・既存施設を積極的に有効活用し、施設の複合化・多機能化を実現する

3. 財政と連動した公共施設・インフラ資産のマネジメントの実現

- ・施設の再編に伴ったインフラの在り方を検討し、公共施設と両面から最適化を図る
- ・今後の施設の方向性と合わせて建替えや長寿命化を計画的に実施する
- ・更新、維持管理、運営において、中長期的な視点に基づき段階的な再編の実現

〈具体的な方針〉

① 市街地と山間部等の地域特性(人口構成・公共施設整備状況等)に応じた施設の再編

- ・市の保有面積の80%、市の人口の70%が集中する市街地の施設の在り方を見直した施設再編を検討
- ・過疎化が進行する山間部の地域特性と連動した施設再配置計画の検討

② 機能の複合化・多機能化・機能転換等による既存施設の有効活用(施設重視から機能重視へ)

- ・多機能化を促進し、市民サービスを維持・向上させながら、公共施設を「資産」と位置付け、有効活用していく。
- ・低利用施設の有効活用、近接する類似施設の集約化・共用化、余剰スペース活用による施設の複合化・多機能化等を行う。また、複合・集約化にあたっては、拠点を中心に公共公益機能を集積する。
- ・公共施設の改修や更新を行う際は、福祉や生活環境等の維持・向上のため、ユニバーサル・デザイン化を進めるとともに、太陽光発電や蓄電の導入、省エネルギー改修など、脱炭素化の取組を推進する。

③ 市民・民間事業者との協働

- ・民間事業者の活力による施設の更新・維持管理・運営の効率化促進
- ・公共施設マネジメント白書の発行をはじめ、必要なデータを情報公開することにより、市民と行政とが問題意識の共有化を図り、市民と協働で課題解決に取り組む。

④ 施設の最新情報の一元管理による継続的な実態把握の実施と計画の確実な推進

- ・公共施設マネジメントや財産管理に総合的・戦略的に取り組むための体制を構築し、一貫した施設データの管理・更新を行う。
- ・個別の事業計画と全体方針との調整を行い、確実に推進する。

削減目標	(公共施設)	(公共施設)	(インフラ)
	面積削減：62% (約9.0万㎡削減)	コスト削減：73% (約12.1億円/年削減)	26% (約3.9億円/年削減)
目標期間	40年間 令和2(2020)年度～令和41(2059)年度		

（２）インフラ施設に係る基本方針

今後の人口動向等や将来の都市のあり方を見据え、限られた財源の中で、市民の安全性を確保するための効果的・効率的な維持更新を行います。

その上で、前項でインフラ施設マネジメントの必要性について述べたところですが、全てのインフラ施設を画一的な基準で長寿命化しただけでは、根本的な解決にはならず、今後更新費用が賄えないという状況です。

このようなことから、インフラ施設についての基本的な考え方を以下に掲げ、具体的な改善に努めます。

方針１ 計画的・効率的な整備、維持管理の推進

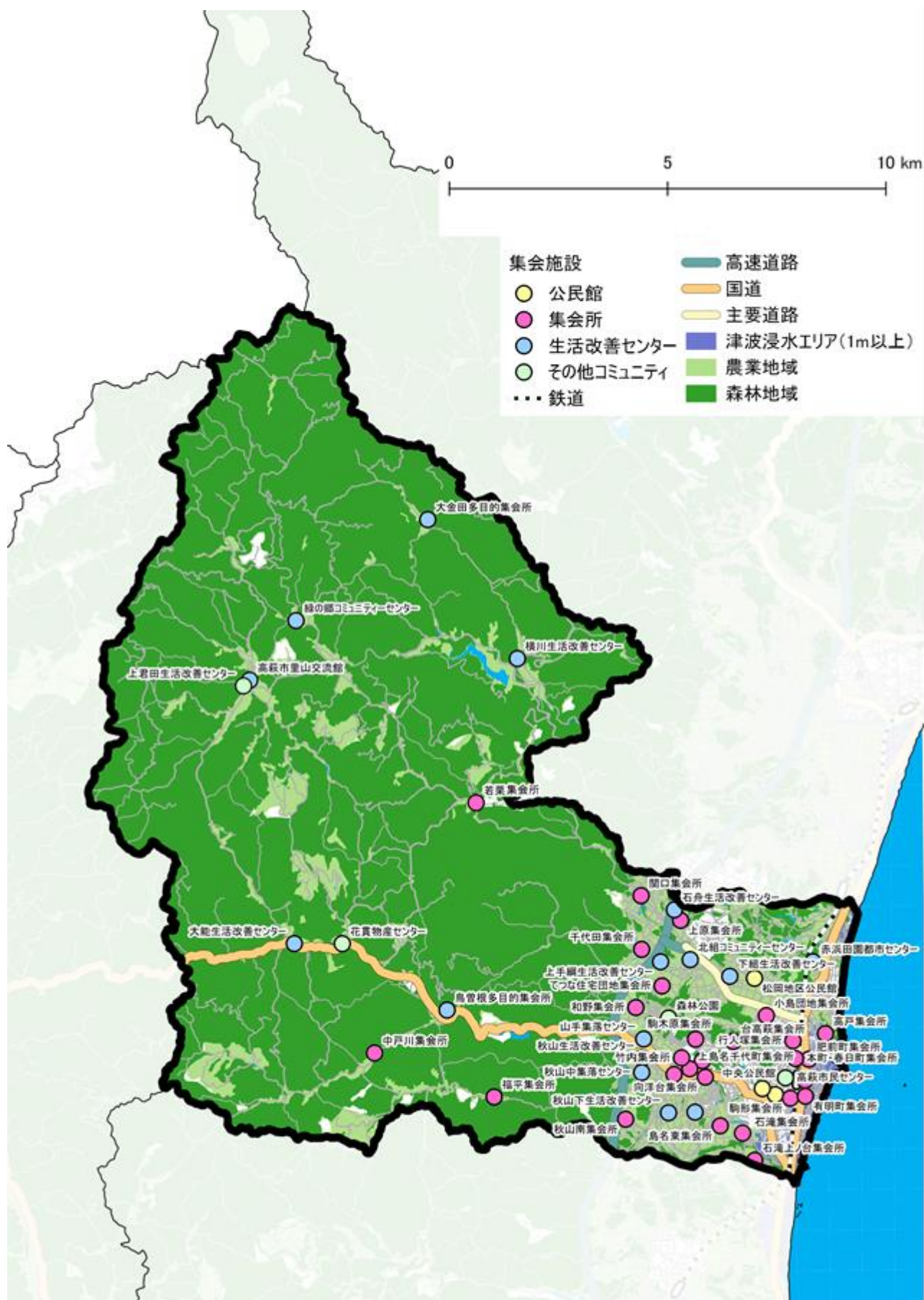
- ❑ 施設を長期間にわたり、安全安心に利用し続けられるよう、施設の老朽化への対応を着実に推進するため、定期的な点検、診断結果、状況データの蓄積等に基づく計画的維持管理・保全を進める。

方針２ 投資コストの平準化とトータルコストの縮減

- ❑ 予防保全を前提としたリスクベースマネジメント※^１の考え方（重要度等に応じて整備水準に差を設ける）により、更新サイクルや整備水準の見直し、維持管理コストの縮減と投資コストの平準化に努める。
- ❑ 全ての施設を一律に予防保全するのではなく、施設の性質等に応じて事後保全型、観察保全型による維持管理手法を組み合わせることにより、効率的な維持管理を行う。

※１ リスクベースマネジメントとは、リスクを基準に検査およびメンテナンスの重要度、緊急度を評価し、優先順位を付けてメンテナンスを行ったり、社会情勢等の変化等に応じたダウンサイジングを実施するなど、最適な手法の選択により効率的な運用を図ること

2. コミュニティ施設配置図





高企財第 93 号
令和6年 8月 8日

高萩市公共施設管理計画策定委員会
会長 根 本 祐 二 様

高萩市長 大 部 勝 規



諮 問 書

下記の諮問事項について、貴策定委員会の意見を伺いたく、高萩市公共施設管理計画策定委員会条例第1条及び第2条の規定に基づき諮問します。

記

1 諮問事項

- (1) 高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の取組や方向性について
- (2) 高萩市公共施設等管理計画改訂版の見直し及び高萩市公共施設個別施設計画の策定について

令和6年12月6日

高萩市長 大部 勝 規 様

高萩市公共施設管理計画策定委員会
会 長 根 本 祐 二

答 申 書

令和6年8月8日付け高企財第93号で諮問のあったことについては、下記のとおり答申いたします。

記

- 1 高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の取組や方向性について

令和5年度実績評価

《事業実施体制》

十分であった

《事業実施過程》

不足していた

《公共施設の評価（成果）指標》

延床面積 : 改善が見られない

【理由】保育所・幼稚園の統合や市営住宅の解体等、延床面積の削減が進んでいる施設はあるが、現在、再編の方向性を進めている段階であり、実際の施設解体が進んでいない施設があるため。

稼働率 : 改善が見られない

【理由】新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、徐々に回復傾向にあるものの、計画策定当初より稼働率が低下している施設が多いため。

行政コスト：改善が見られない

【理由】計画策定当初より人件費及び物価高騰等による経費が増加しているため。

更新コスト：評価困難

【理由】単年度では、更新コストの多寡で是非を判断できるものではなく、中長期的な視点で判断すべきものであるため。

老朽化度：改善が見られない

【理由】本指標である有形固定資産減価償却率が計画策定時のベースライン（平成30年度）よりも上回っているため。

計画との整合性（実施目標のあるもののみ評価）

文化・教育施設：実施目標未達成

福祉施設：実施目標を達成している

市営住宅：実施目標未達成

コミュニティ施設：実施目標未達成

学校施設：実施目標を達成している

保育所・幼稚園：実施目標を達成している

環境衛生施設等：実施目標には届かなかったが実施した

消防施設：実施目標を達成している

付記事項

- 概要版を作成し、市民への説明・普及啓発を行うこと。
- 市民との合意形成や庁内検討の際、施設別コスト情報を活用すること。

高萩市公共施設等管理計画 令和 5 年度実績報告書
令和 7 年 1 月

本報告書は、各施設にかかる実績等を、企画総務部企画財政課
において、とりまとめを行いました。